

子どもを見守る大人のための 情報モラル研修



情報モラル教材制作の目的①

○青少年のケータイ・スマートフォン等の所持率の上昇



- ・高校生99.2%
 - ・中学生80.6%
 - ・小学生37.3%
- 令和6年度情報モラル調査(岐阜県教育委員会)

○1日5時間以上、ケータイ・スマートフォンを使用する子どもも



- ・高校生19.3%
 - ・中学生12.9%
 - ・小学生(4~6年)11.8%
- 令和6年度情報モラル調査(岐阜県教育委員会)
- ※「ほぼ毎日使う」と答えた人のうち

○メールやネットの掲示板等で被害や不快な経験

- ・ネット上のいじめ
- ・個人情報の流出
- ・SNS等によるトラブル

- ・高校生5.3%
 - ・中学生5.5%
 - ・小学生(4~6年)4.4%
- 令和6年度情報モラル調査(岐阜県教育委員会)

情報モラル教材制作の目的②

○インターネットを含めた情報環境の変化

- 新たなアプリ、SNS
- ウイルスの進化
- ユーザーのロコミやマスコミの影響
- GIGAスクール構想
- 新機能端末の発売
- ハッキング技術の高度化
- ICT、IoTの普及



○利用形態・トラブル事案の多様化



○利用者(子ども)とともに、保護者においても、インターネットの適切な利用方法に関する知識の必要性が高まる

情報モラル教材の指導の流れ



情報モラル教材

研修

地域

PTA・育成指導者

○スマートフォンなどケータイの適切な利用方法の周知

- ・インターネットの閲覧
- ・フィルタリングの必要性
- ・ネット上のマナー,モラル など

学校

情報教育・指導

家庭

保護者

家庭でのルール作り・見守り

利用者(子ども)

- 第1章 統計データから見た子どもの実態
- 第2章 身近に起きるネットトラブル
- 第3章 ネットトラブルの要因と対策
- 第4章 ワークショップ

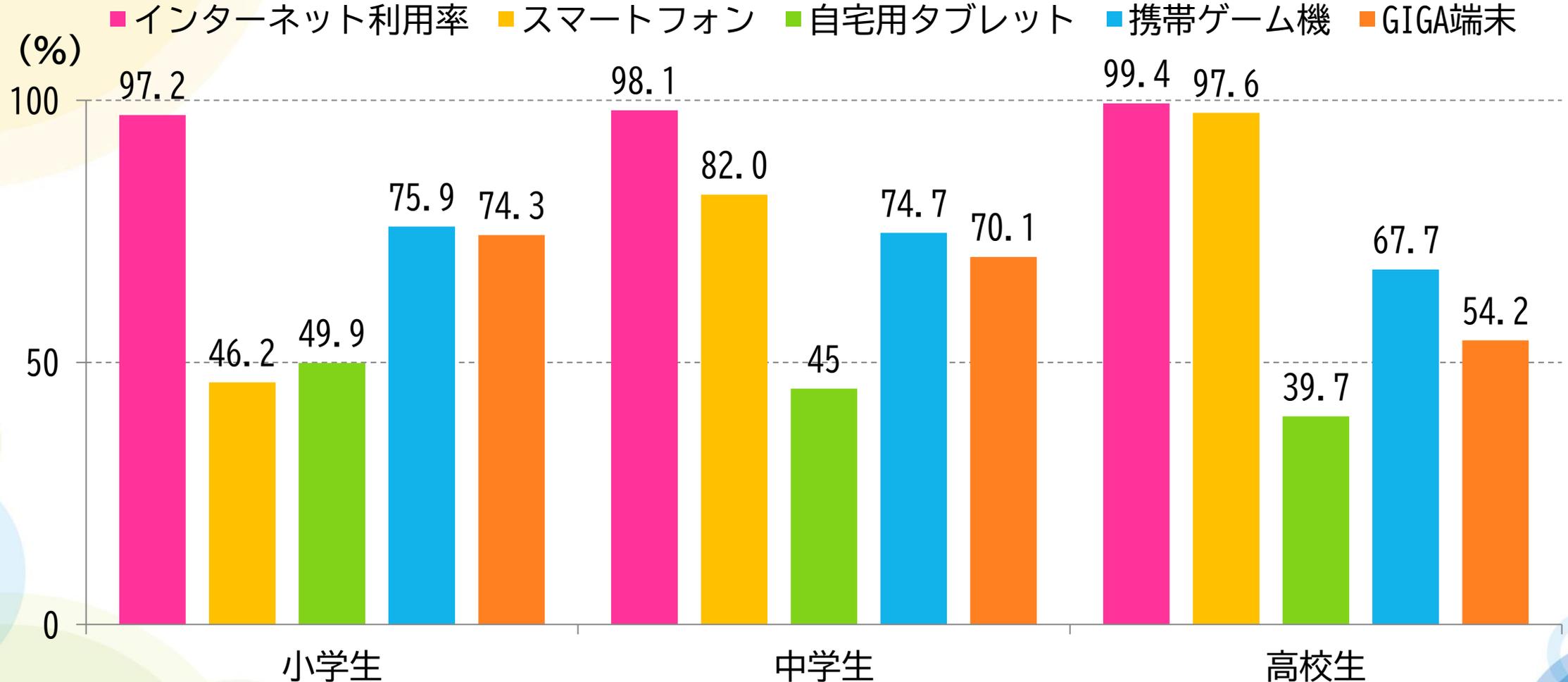
第1章

統計データから見た 子どもたちの実態



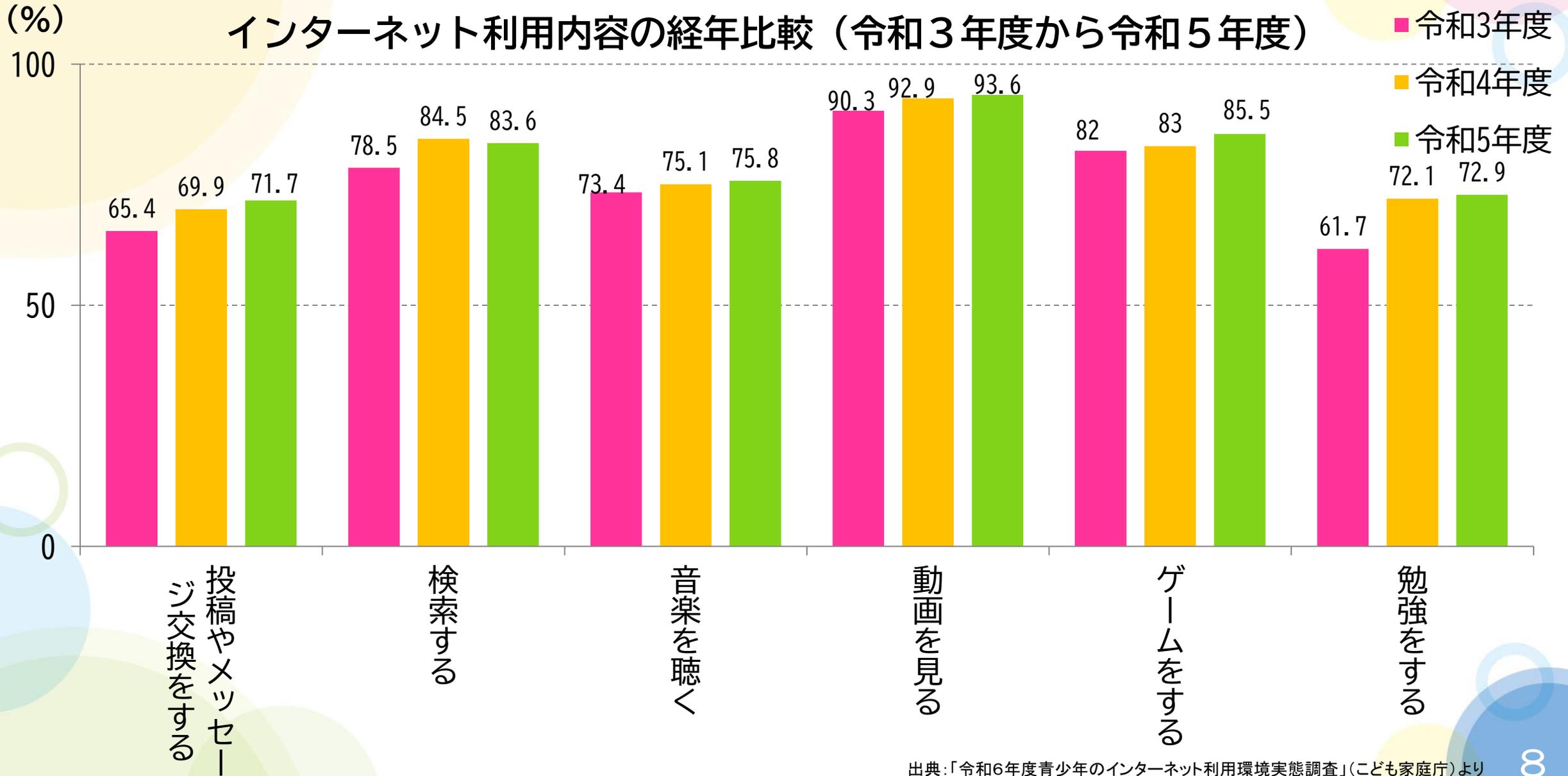
1. 青少年のインターネットの利用状況-1（全国）

インターネット利用率（機器・学校種別）



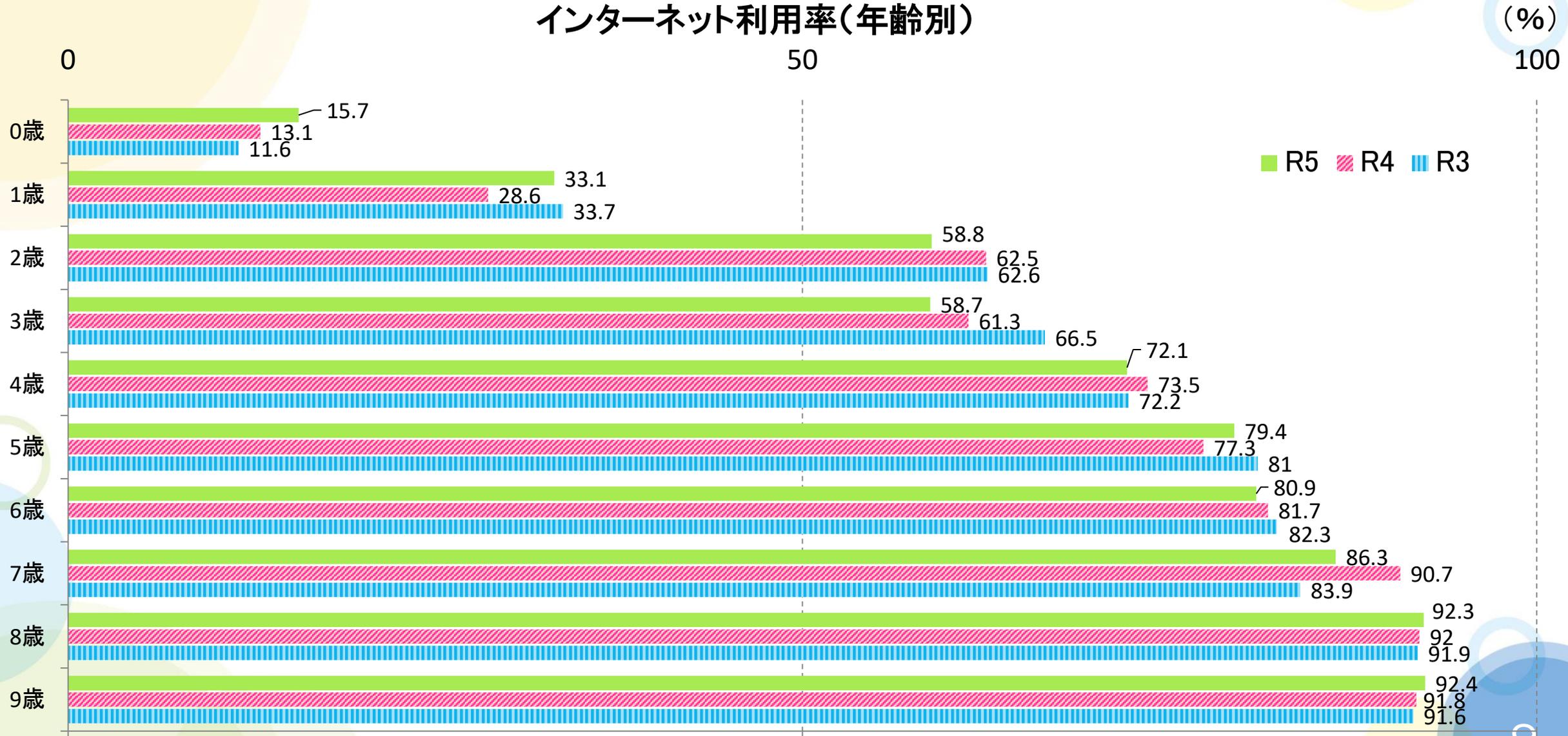
出典:「令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査」(こども家庭庁)より

2. 青少年のインターネットの利用状況-2 (全国)



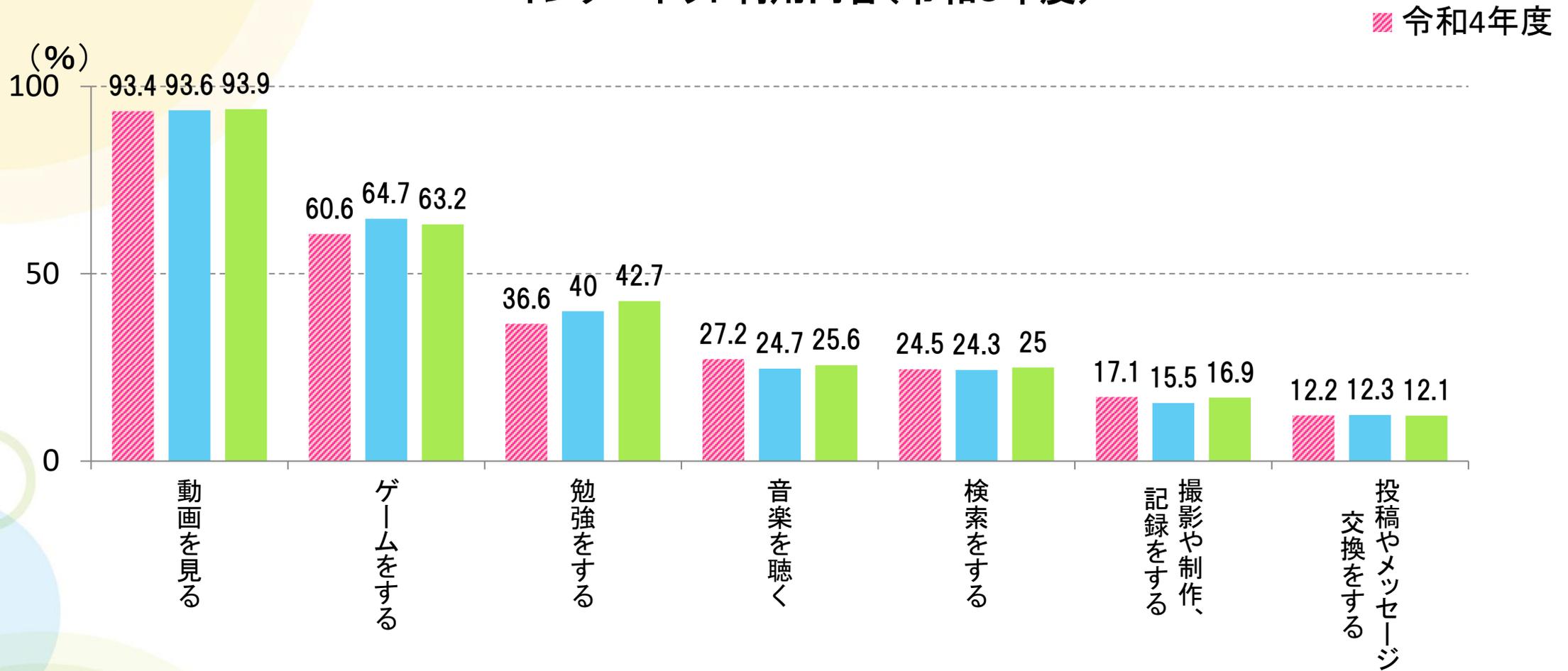
3. 低年齢層の子供のインターネットの利用状況-1 (全国)

インターネット利用率(年齢別)

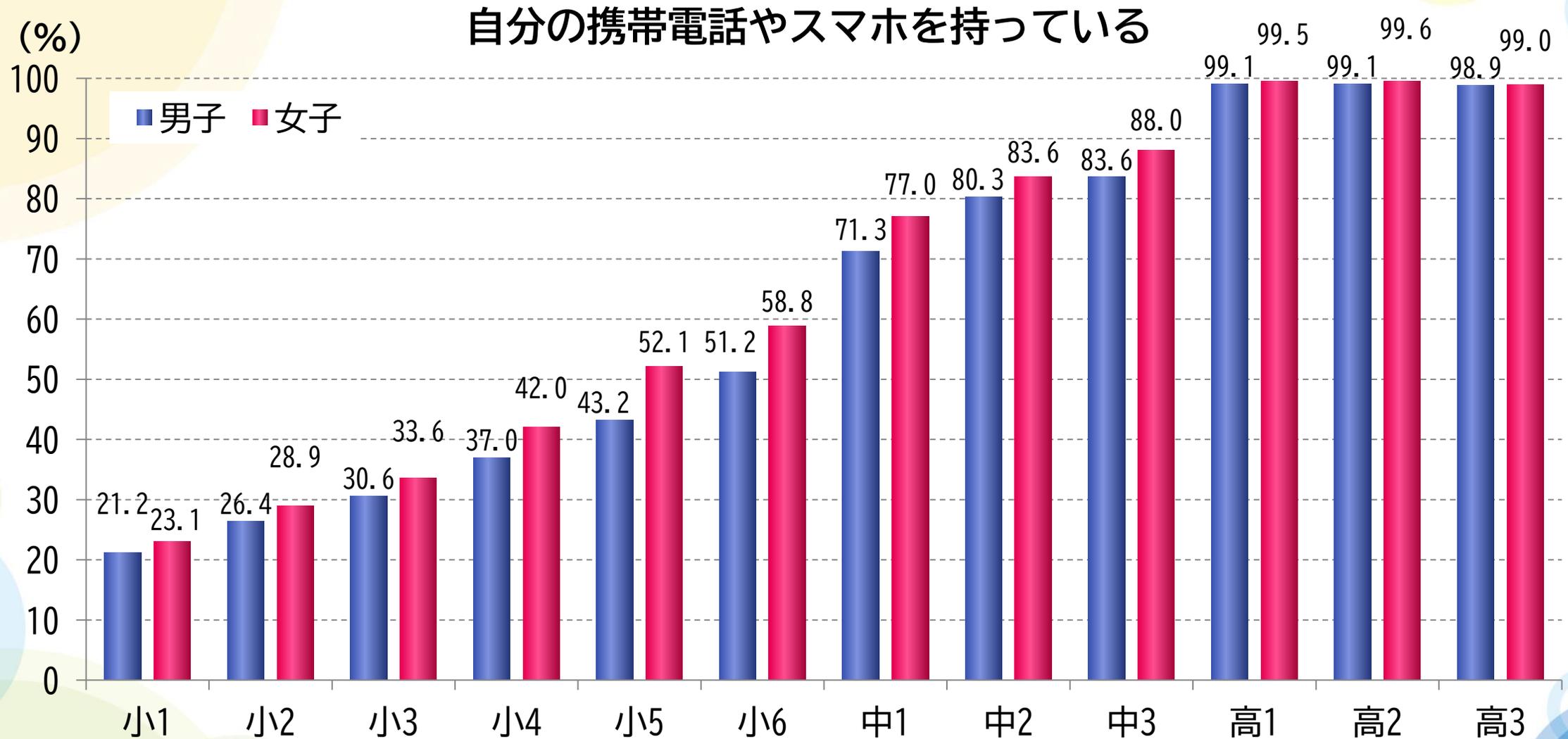


4. 低年齢層の子供のインターネットの利用状況-2 (全国)

インターネット利用内容(令和5年度)

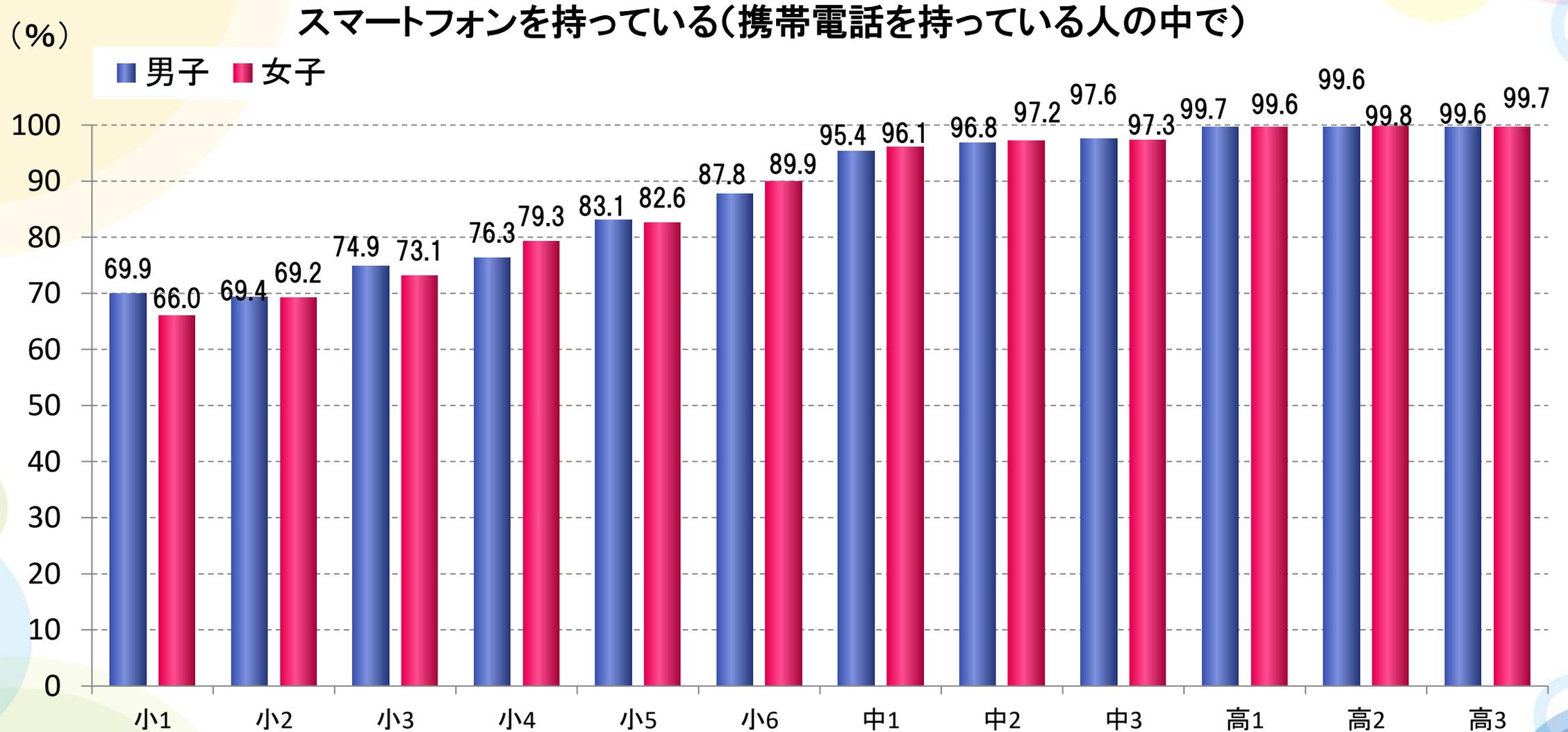


5. 携帯電話やスマホの所持率(岐阜県)



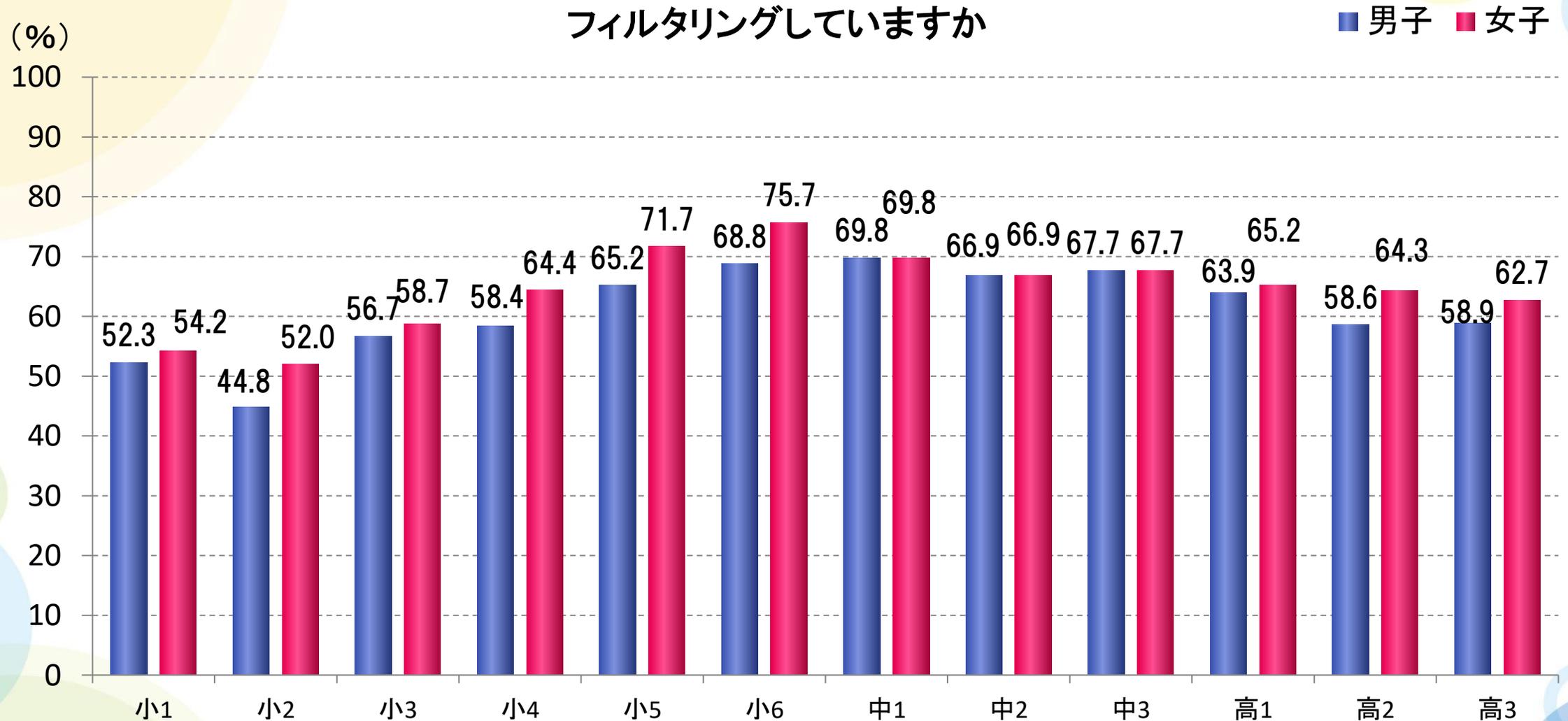
出典:「令和6年度情報モラル調査」(岐阜県教育委員会)より

6. スマートフォンの所持率(岐阜県)



出典:「令和6年度情報モラル調査」(岐阜県教育委員会)より

7. フィルタリングの実施率(岐阜県)



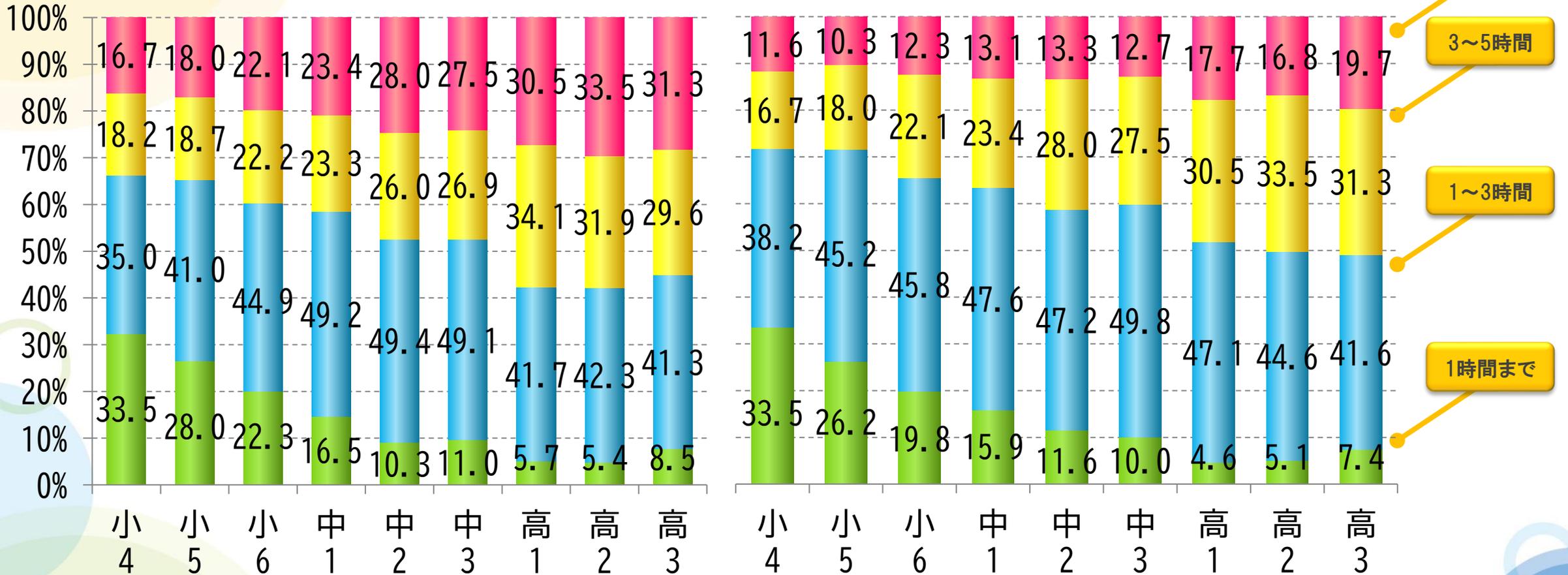
出典:「令和6年度情報モラル調査」(岐阜県教育委員会)より

8. 携帯電話の利用時間(岐阜県)

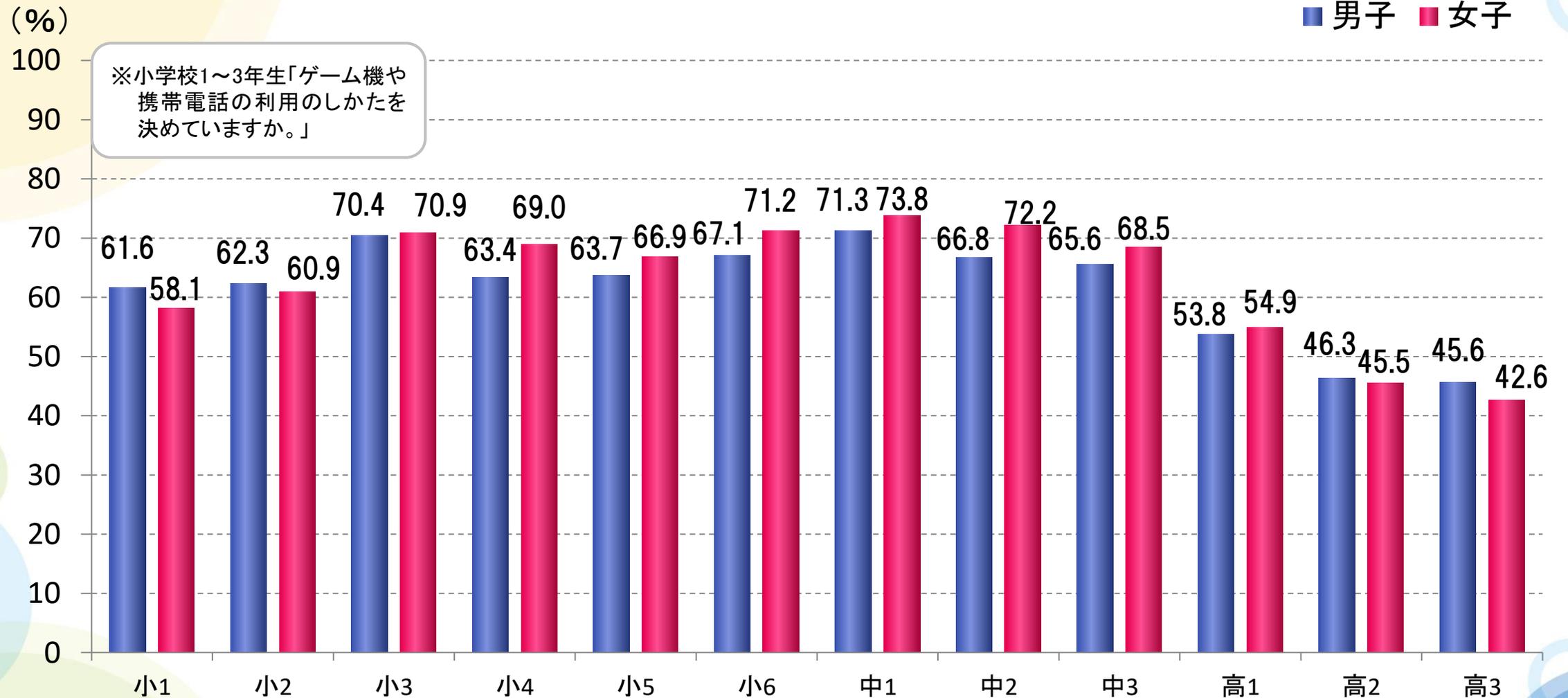
1日当たりの利用時間

男子

女子

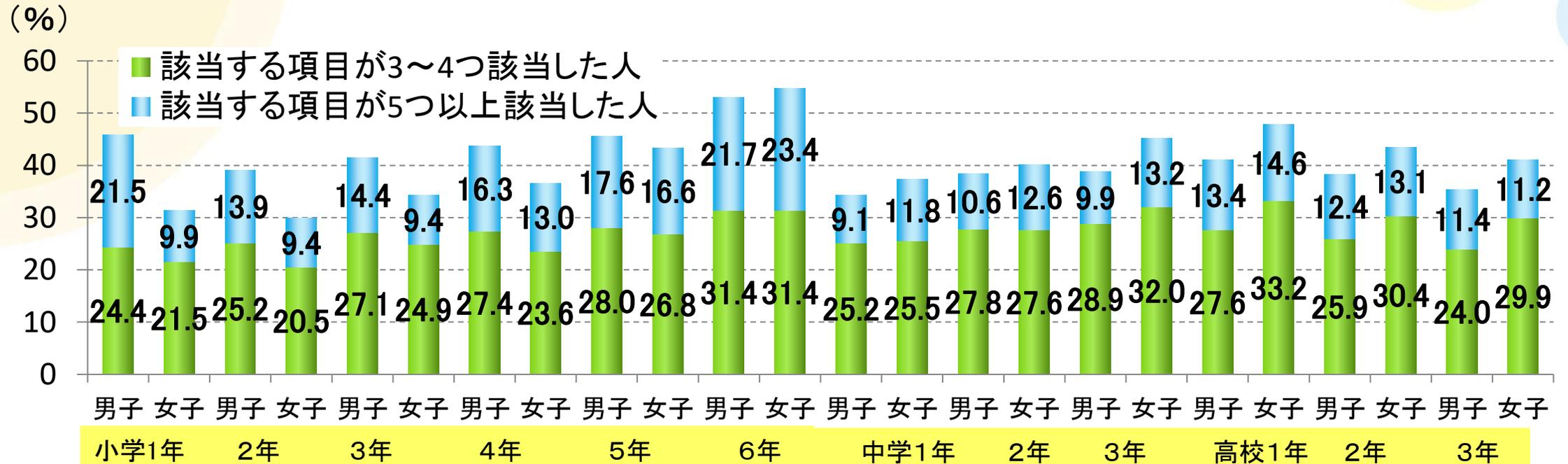


9. あなたの家では自分が使う携帯電話の利用のしかたを決めていますか。(岐阜県)



出典:「令和6年度情報モラル調査」(岐阜県教育委員会)より

10. ネット依存傾向について(岐阜県)

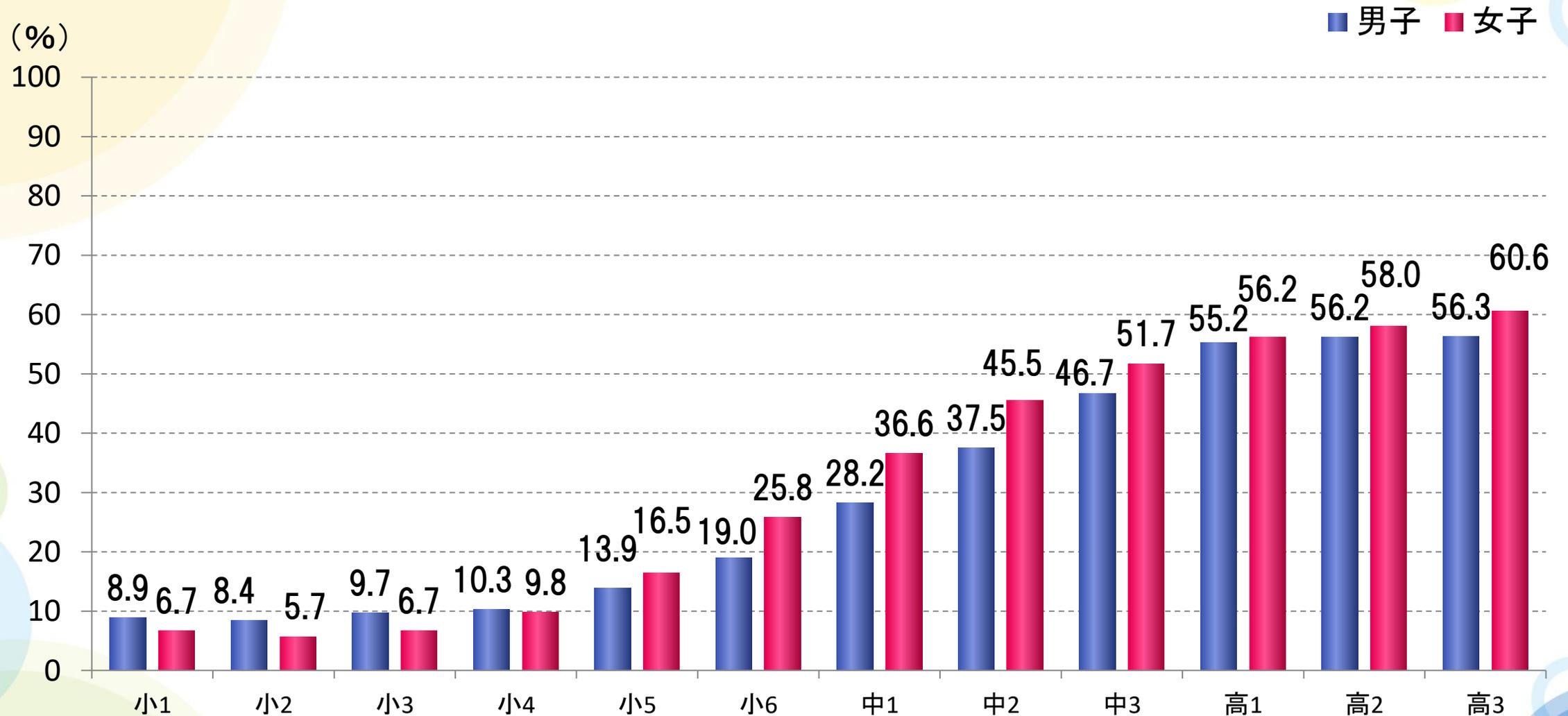


項目

- インターネットに夢中になっていると感じる。
- 満足を与えるために、インターネットを使う時間をだんだん長くしていかなければならないと感じている。
- インターネット使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしたが、うまくいかなかったことがたびたびある。
- インターネットの使用時間を短くしたり、完全にやめようとした時、落ち着かなかったり、不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感じる。
- 使いはじめに意図したよりも長い時間インターネットを接続した状態にいる。
- インターネットのために大切な人間関係、学校のことや、部活動のことを台無しにしたり、あやうくするようなことがあった。
- インターネットへの熱中のしすぎをかくすために、家族、学校の先生やその他の人たちにうそをついたことがあった。
- 問題から逃げるために、または、絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどといったいやな気持ちから逃げるために、インターネットを使う。

出典:「令和6年度情報モラル調査」(岐阜県教育委員会)より

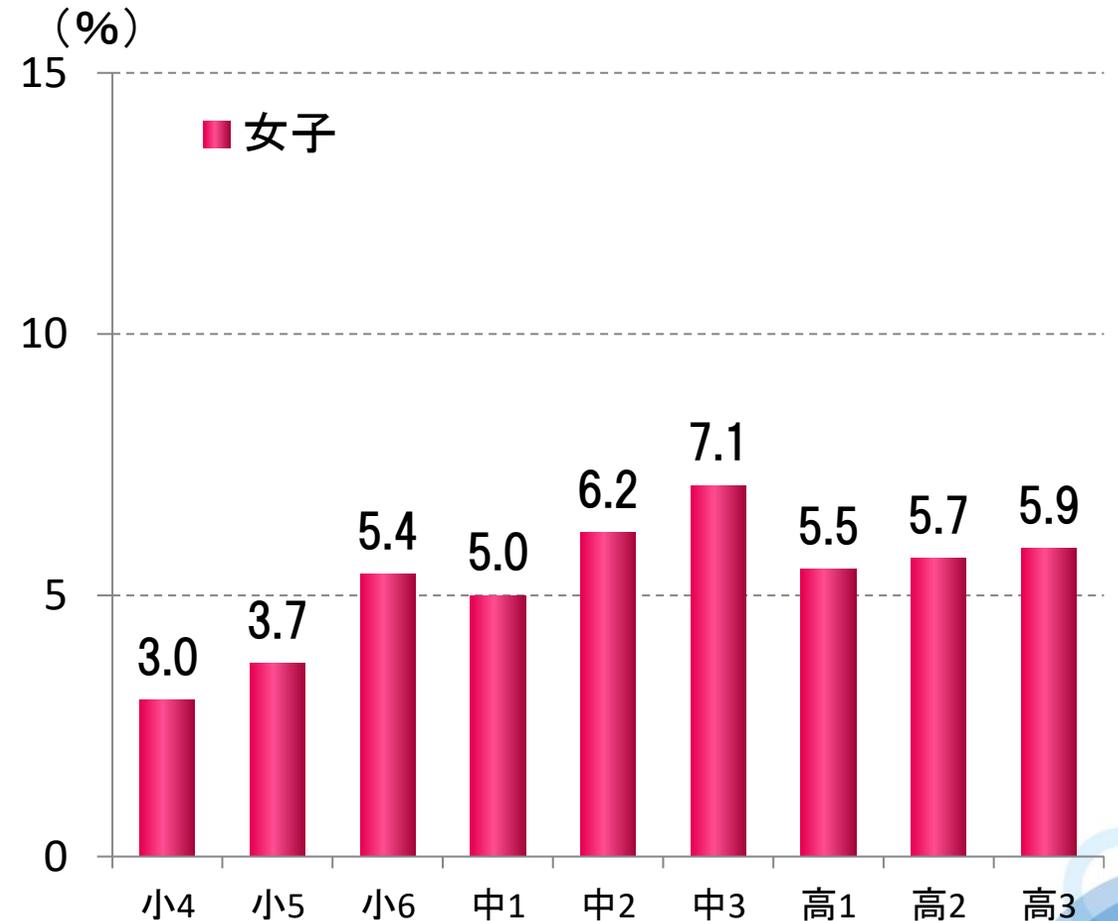
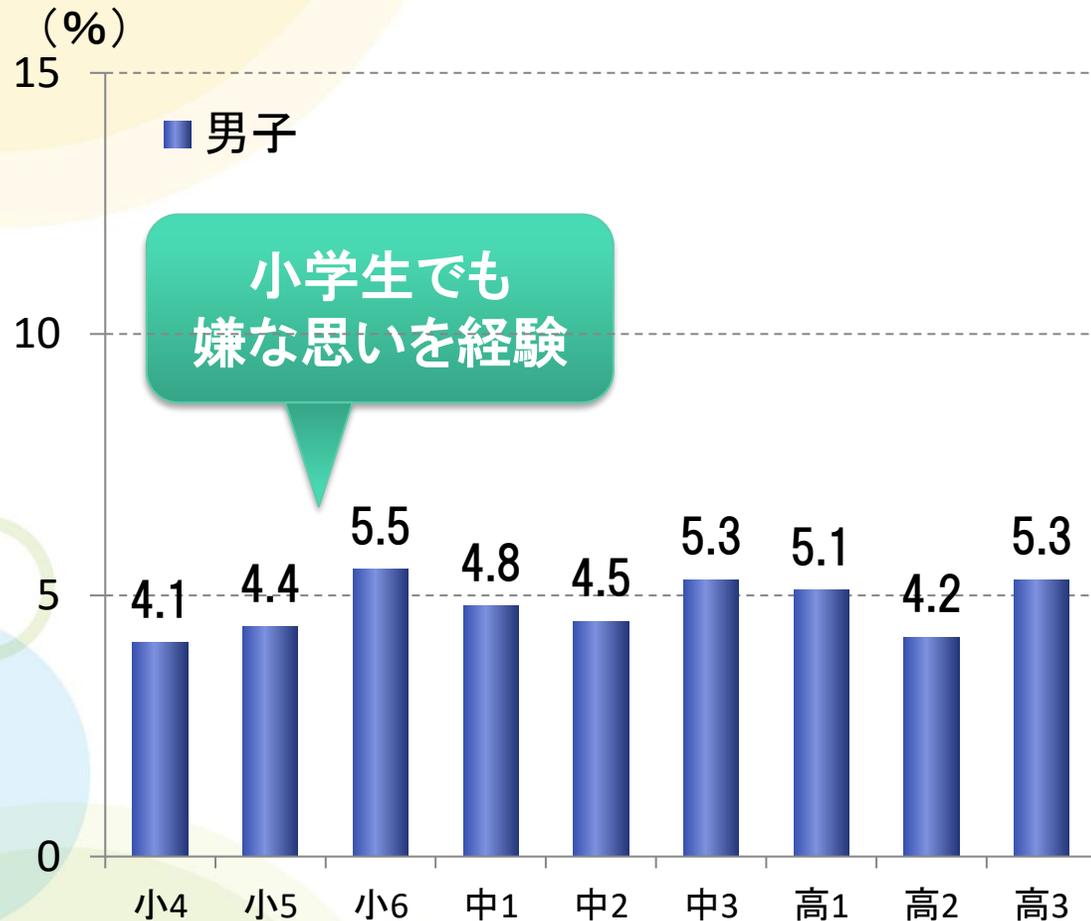
11. あなたは、インターネットや携帯電話でSNSに書き込みをしたことがありますか。(岐阜県)



出典:「令和6年度情報モラル調査」(岐阜県教育委員会)より

12. ネットで嫌な思いをした(岐阜県)

情報機器やネット利用において、被害を受けたり、嫌な思いをしたりしたことがある

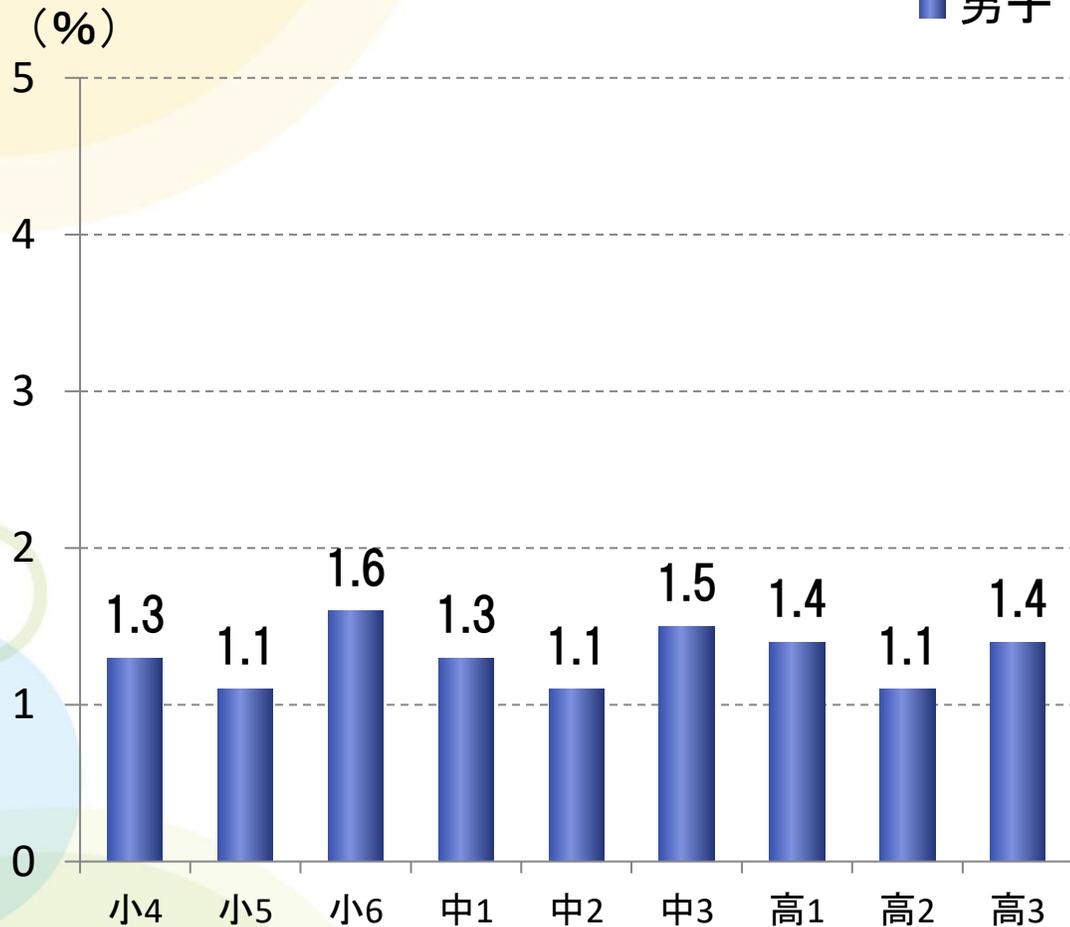


出典:「令和6年度情報モラル調査」(岐阜県教育委員会)より

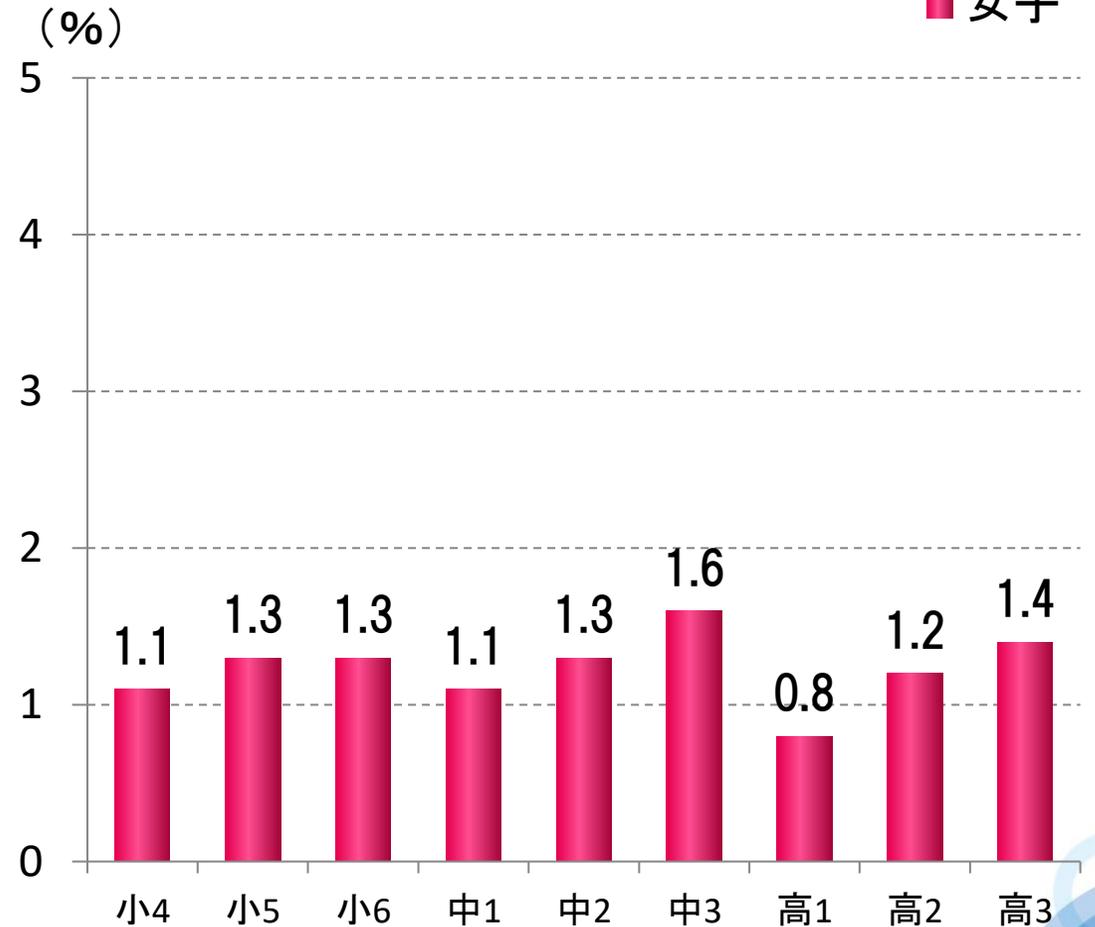
13. ネットいじめを受けた(岐阜県)

メールやSNSの書き込みで、いじめを受けたことがある

■ 男子

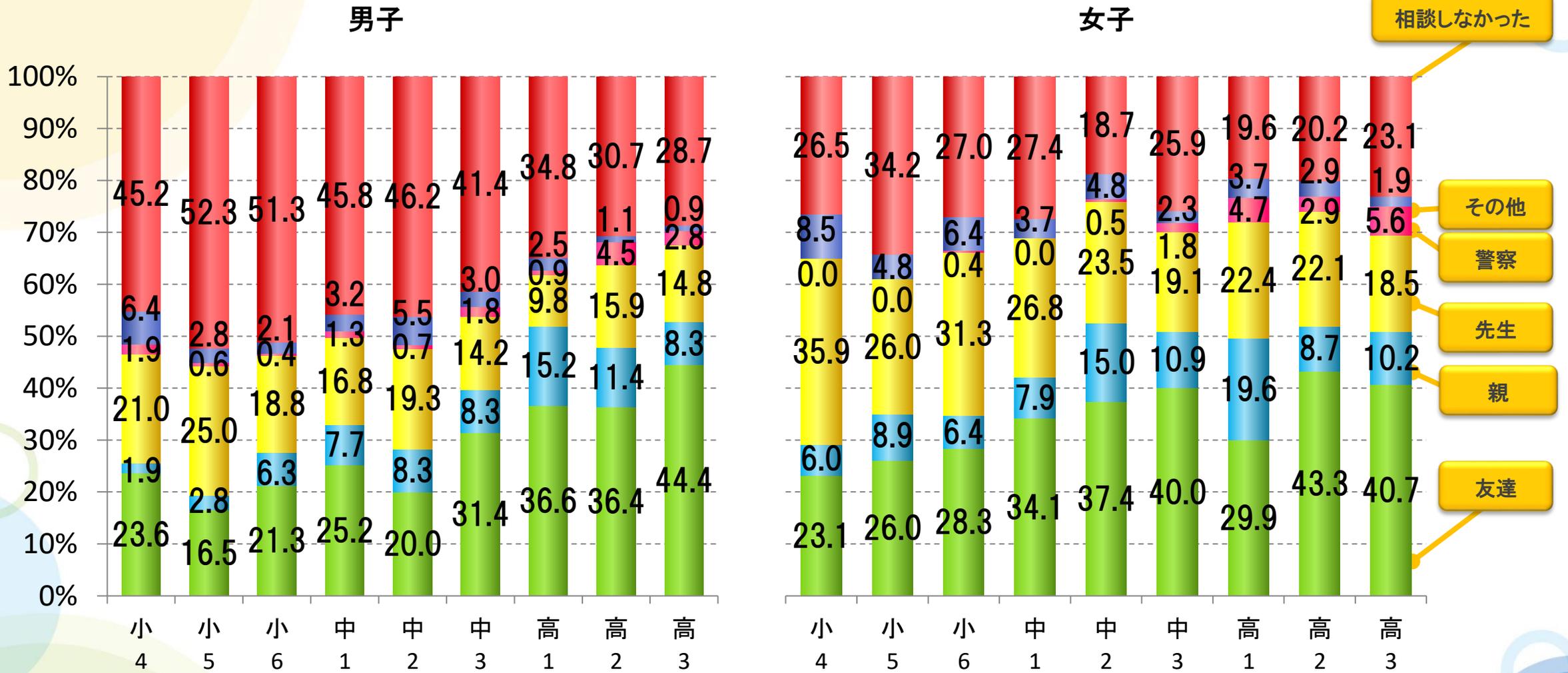


■ 女子



出典:「令和6年度情報モラル調査」(岐阜県教育委員会)より

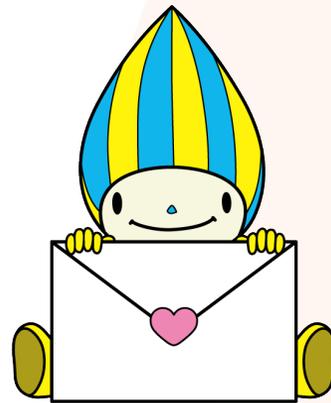
14. 被害を受けたとき誰かに相談しましたか(岐阜県)



出典:「令和6年度情報モラル調査」(岐阜県教育委員会)より

第2章

身近に起きるネットトラブル



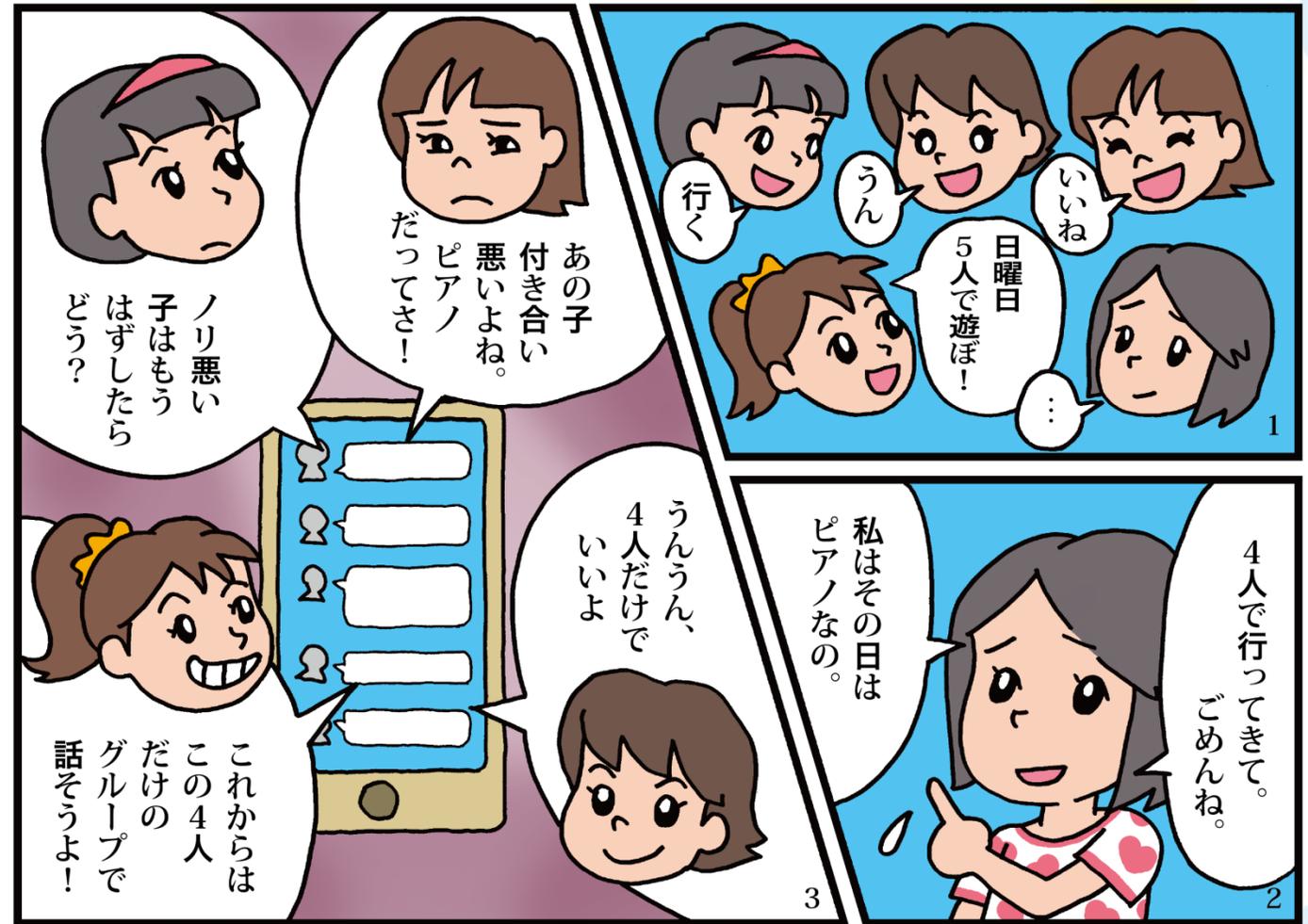
1. ネットトラブル事例 「悪口や嘘の書き込み」

- ① Aさんがテストで100点を取って先生からほめてもらっている。
- ② それをBさんがねたんでSNSに「Aさんはカンニングをしていた」と嘘を書いて友だちに回した。
- ③ CさんがAさんに「こんなのが回ってきたよ」といってBさんの書き込みを見せて、Aさんがショックを受ける



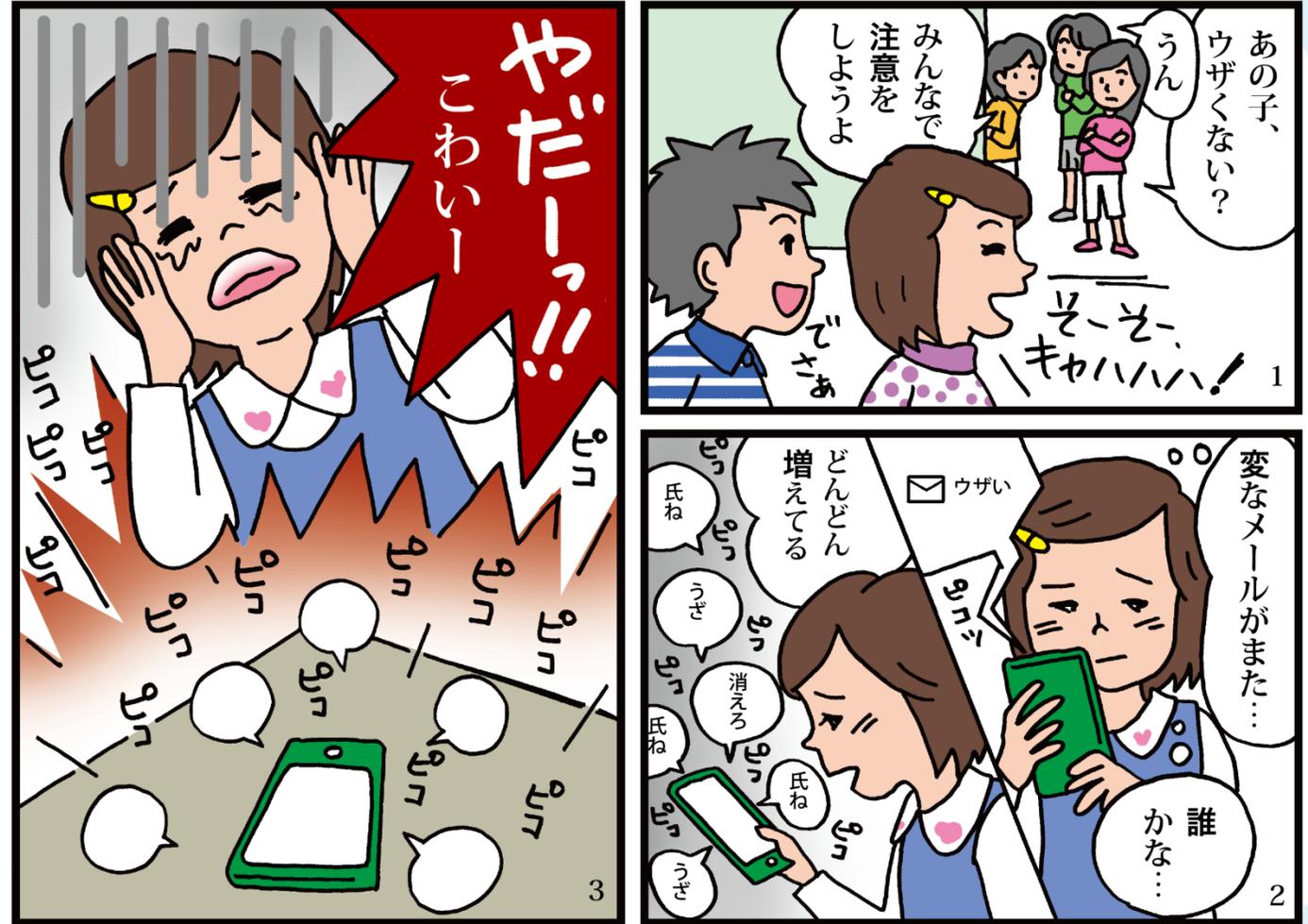
2. ネットトラブル事例 「グルチャはずし」

- ① 5人グループで遊ぶ約束をしていた。
- ② Cさんが「私は習いごとがあるので無理」と言っ
て一人だけ参加しなかつた。
- ③ そこで残った4人が「Cさん
をはずそうよ」と4人で別の
グループチャットを作り、C
さんを仲間はずれにした。



3. ネットトラブル事例 「ネットいじめ」

- ① Aさんのスマホに知らないメールアドレスから「うざい」のメールが頻繁に届くようになった。
- ② いたずらメールの内容はだんだんエスカレートしていき、「氏ね（死ね）」と書かれたメールが頻繁に届くようになった。
- ③ Aさんはメールの着信音におびえる毎日。



4. ネットトラブル事例 「個人情報」

- ① 抽選で豪華景品がもらえるネットのアンケートに答えるA子。名前,住所,電話番号,メールアドレス,学校名,家族の名前や連絡先などを入力している。
- ② 数日後,知らない人からたくさんのメールが届くようになり,不審な電話もかかってくる。
- ③ 家族からも「変な電話がかかってくる」「不審なメールが届くようになった」と困惑の声が聞こえる。



5. ネットトラブル事例「個人情報の流出」

① フリースポットへのアクセス

パスワードが不要な不審な無線LANのアクセスポイントに接続するのは危険です。自分の個人情報が盗まれるかもしれません。



③ 写真からわかる情報

写真からわかる情報(制服・名札・校章等)で本人が特定されてしまうことがあります。

② IDやパスワードの保護

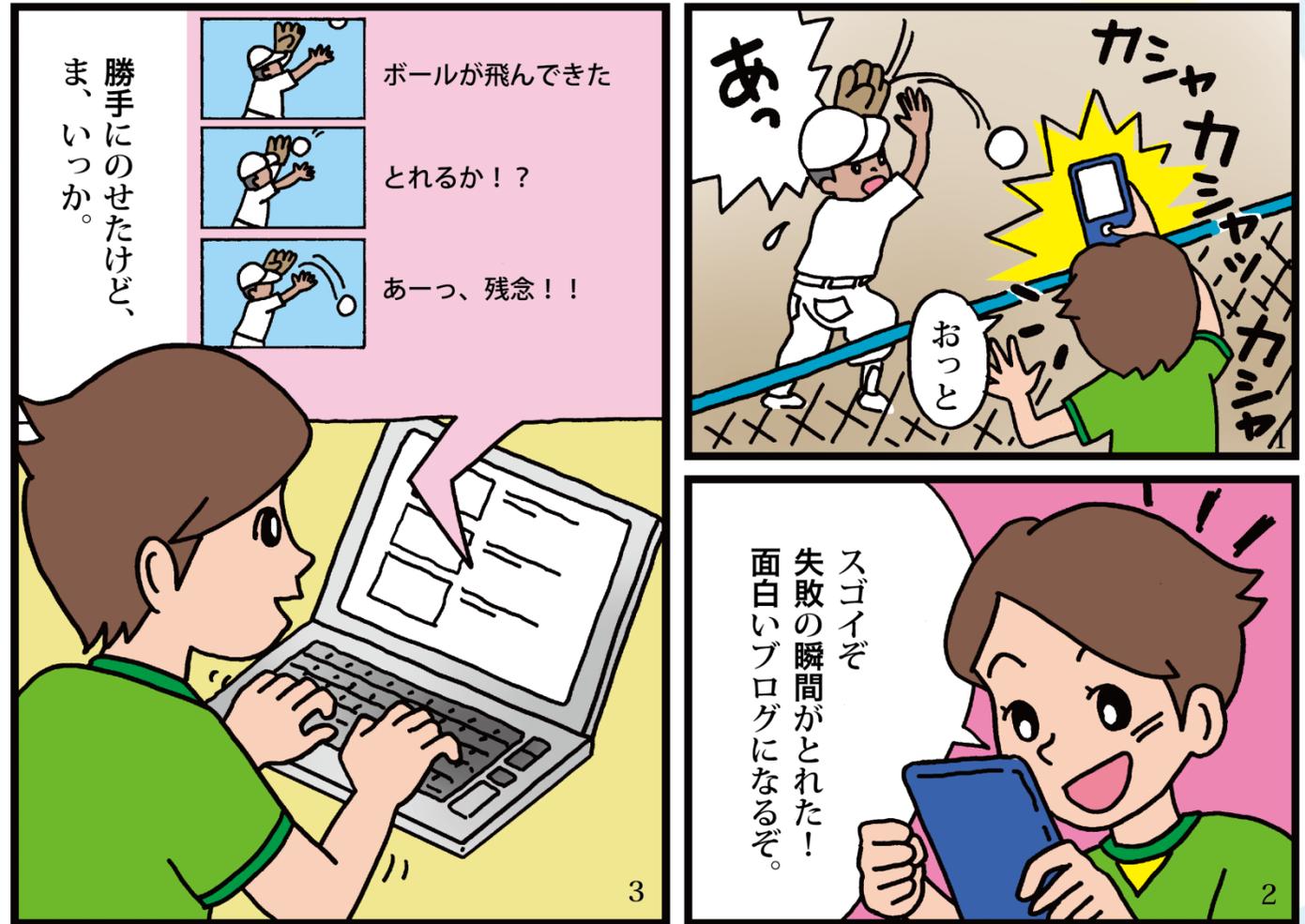
IDやパスワードは名前や生年月日など簡単なものではいけません。メモして貼り付けるのもNGです。



※フリースポットとは、Wi-Fi(無線LAN)でインターネットに接続できる環境を開放しているエリアサービスのことで...

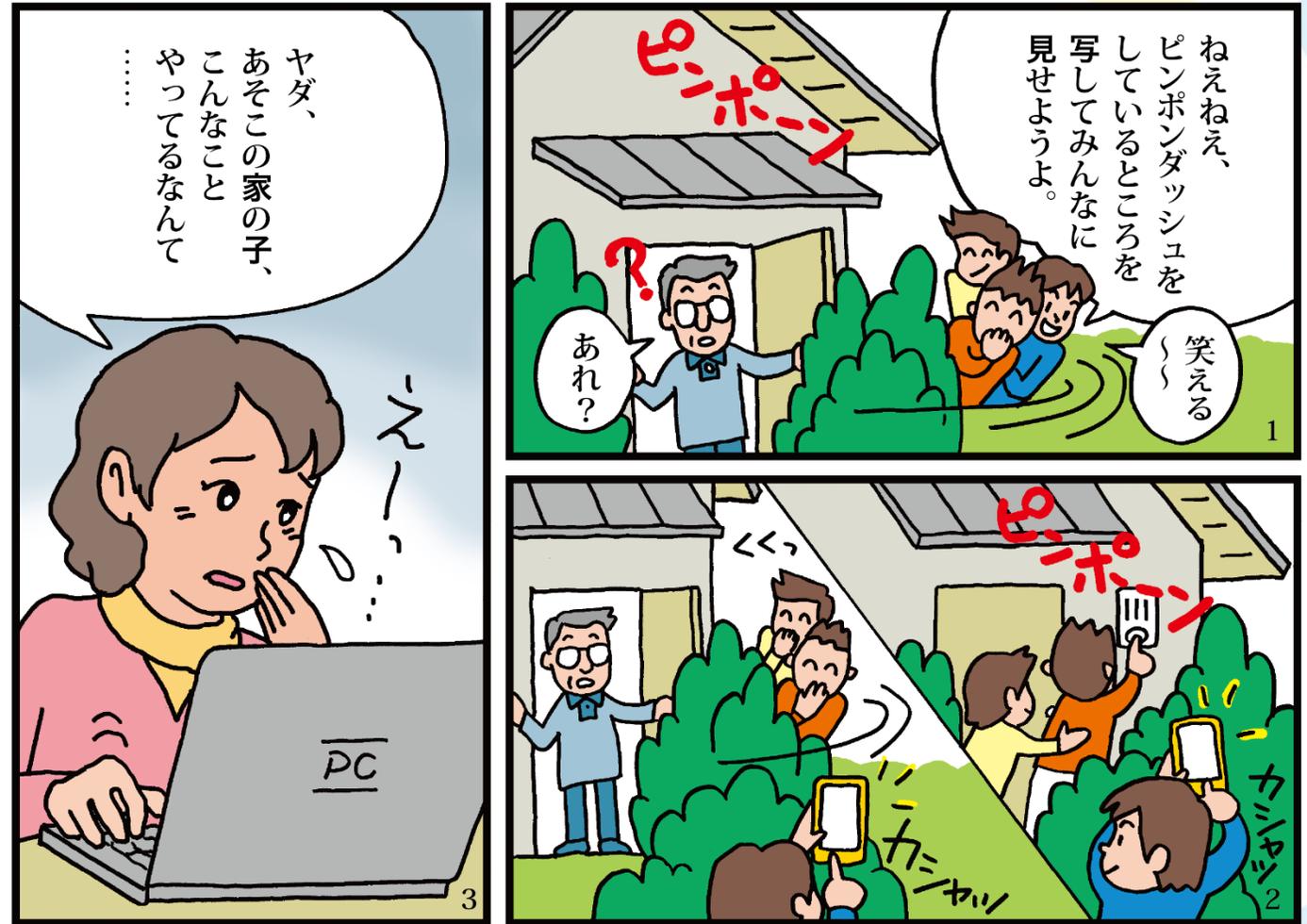
6. ネットトラブル事例 「無断公開」

- ① 少年野球の試合で、Aさんが落球してしまった。
- ② その瞬間をBさんが写真に撮った。
- ③ Bさんが、Aさんに無断でブログに「今日の出来事」として掲載した。



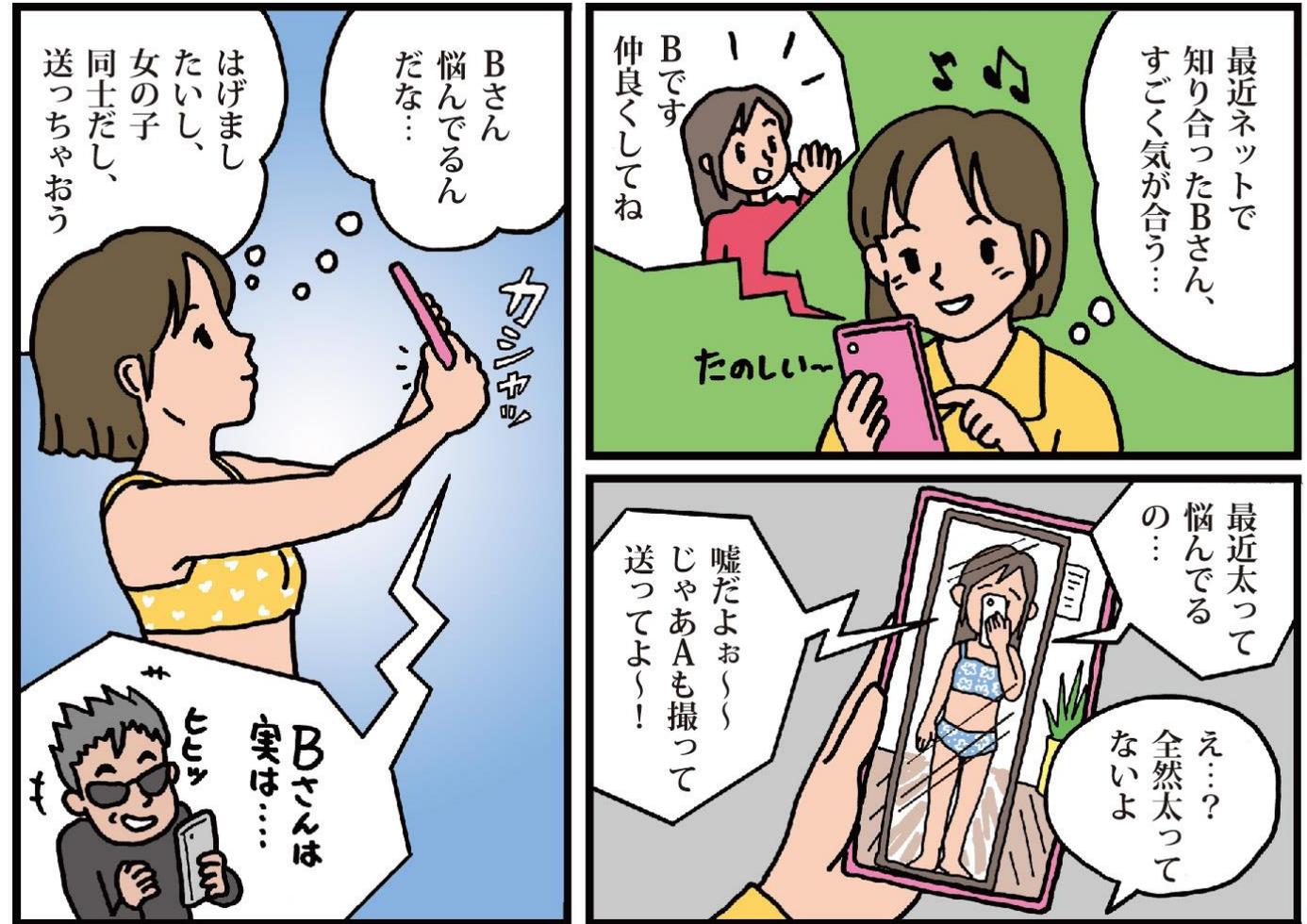
7. ネットトラブル事例 「悪ふざけの自慢を投稿」

- ① ピンポンダッシュをしているA,B,Cさん。
- ② ピンポンダッシュをするB,CさんをAさんが撮影し、ネットにアップする。
- ③ この写真を色々な人が見て非難される。



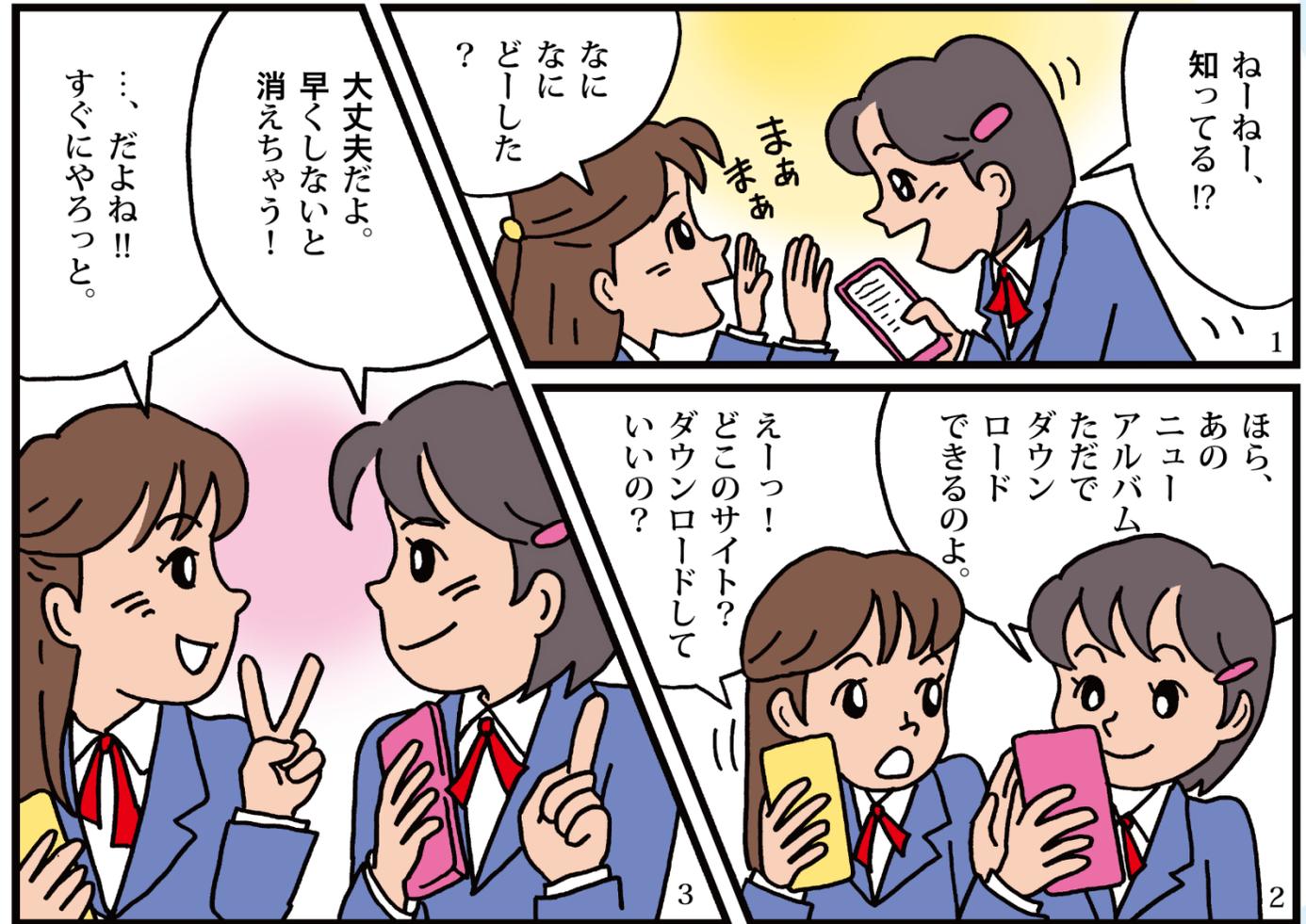
8. ネットトラブル事例「自画撮り」(不適切画像の発信)

- ① Aさんはインターネット上でBさんと友達になった。
- ② Bさんが「最近太って悩んでいる」と言っていて下着姿の写真を送ってきて、「私が送ったんだから、Aさんも送ってよ」と言ってきた。
- ③ AさんはBさんのことを女の子と信じて、下着姿の写真を送った。



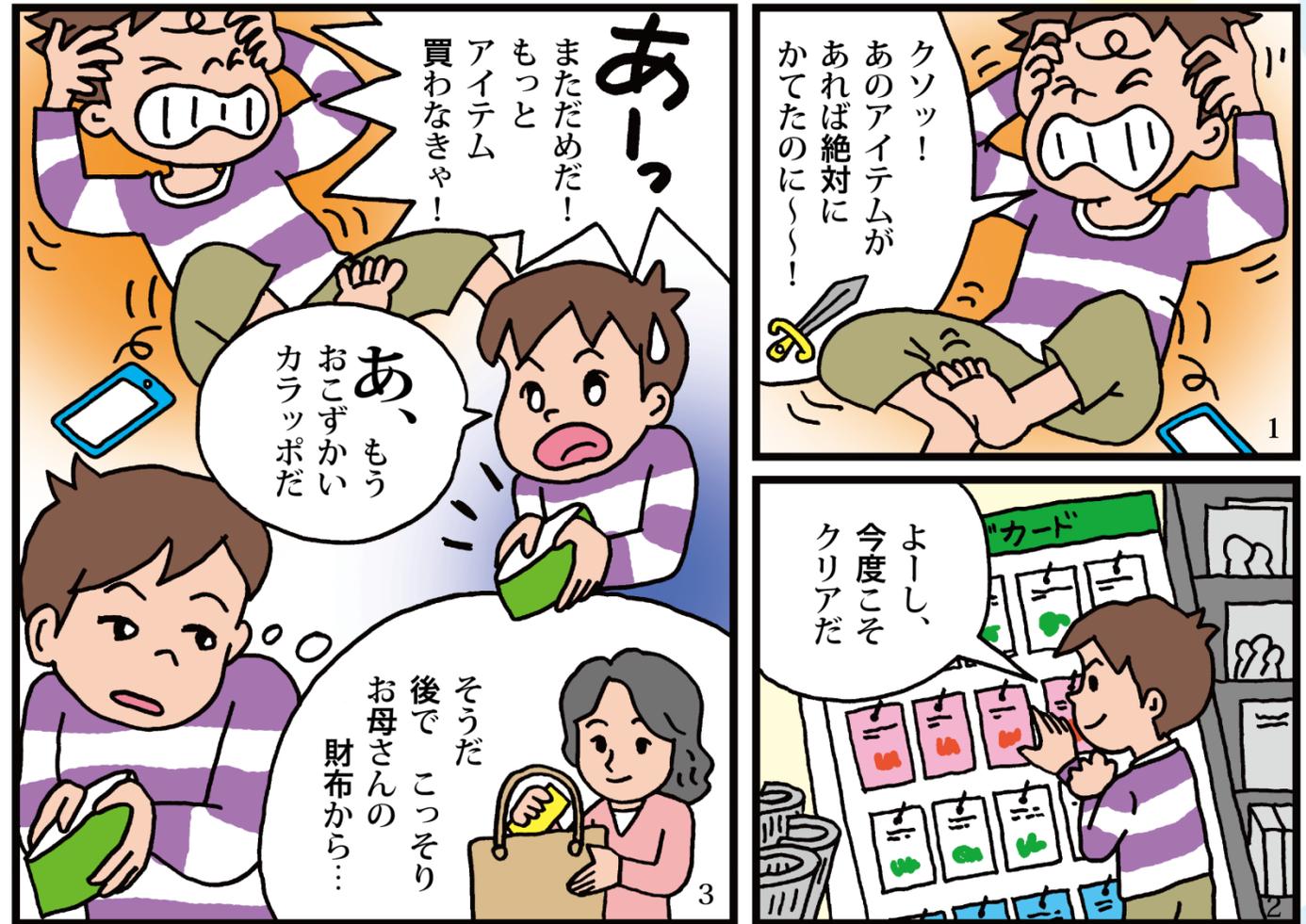
9. ネットトラブル事例 「違法ダウンロード」

- ① 学校でAさんがBさんに話をしている。
- ② 人気グループのニューアルバムがただでダウンロードできるサイトがある。
- ③ 早くダウンロードしないと削除されてしまうと誘っている。



10. ネットトラブル事例 「ゲーム課金」

- ① 「あのアイテムがあれば勝てたのに…」と悔しが
るAさん。
- ② コンビニでプリペイド
カードをこっそり買って
アイテムを手に入れるA
さん。
- ③ すぐに使い切ってしまい、
またコンビニへ行こうと
するがお金が全くないこ
とに気づき…。



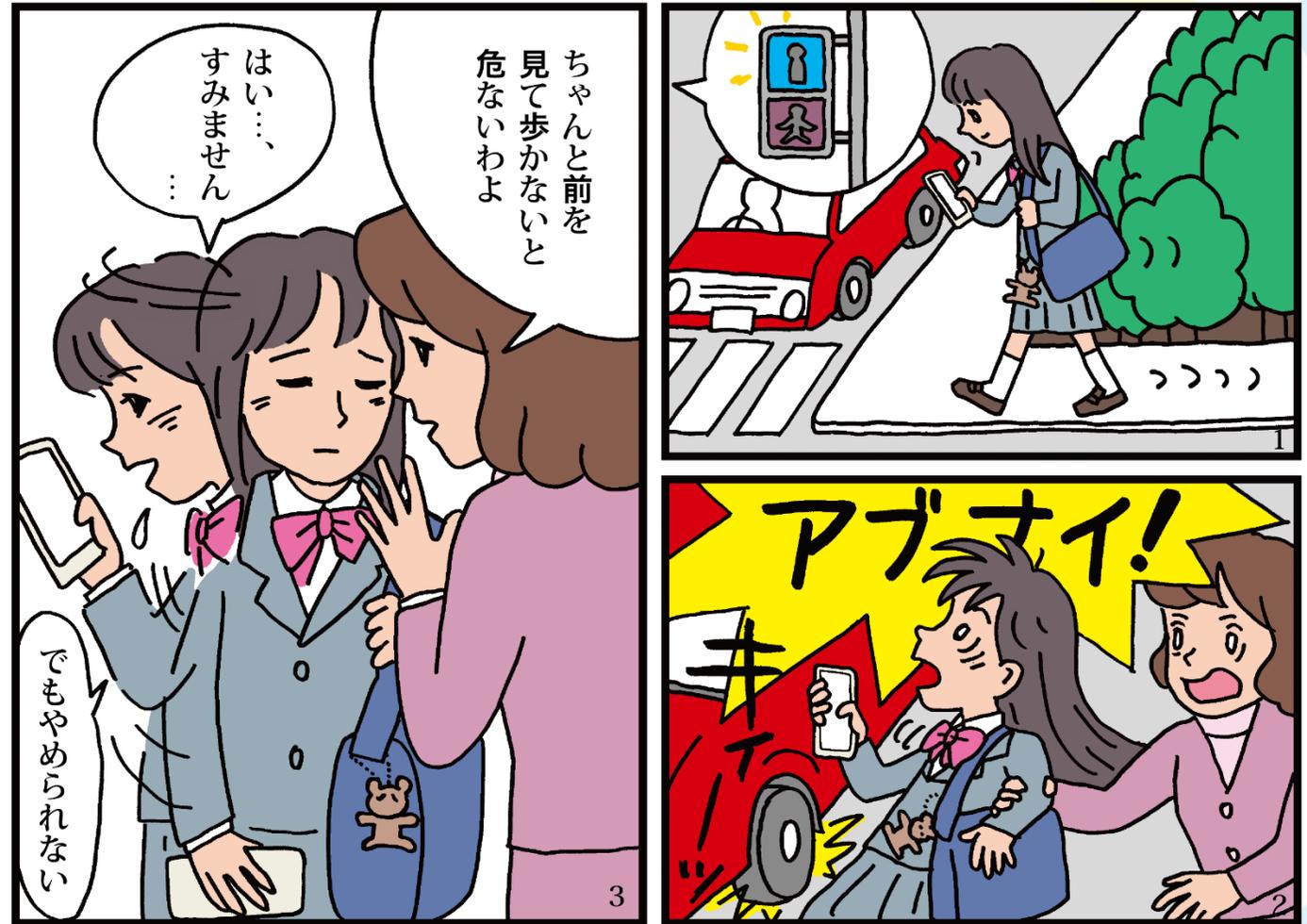
11. ネットトラブル事例「依存」

- ① 自分の部屋で勉強をしているふりをしたり、トイレに持ち込んだりしてネットゲームをしているAさん。
- ② 食事中に見つからないようにしたり、夜中、ふとんの中に潜り込んだりしてネットゲームをしているAさん。
- ③ そんなAさんはネットの使用時間を短くするとイライラしてしまうように。



12. ネットトラブル事例 「ながらスマホ」

- ① スマホに夢中になっているAさんが、スマホを見ながら歩いている。Aさんは、大きな道路に差し掛かって信号が赤でも前に進もうとする。
- ② Aさんは車にひかれそうになるが、腕を引っ張られて間一髪で助けられる。
- ③ それでもAさんは、まだスマホを気にして止めようとしない。



13. ネットトラブル事例「有害・危険サイトへのアクセス」

①コミュニティサイトでの不審者との出会い

SNSや通信ゲームなどでは知り合った人が本当のことを話しているとは限りません。相手の顔が見えないので危険な人物かもしれません。



②ワンクリック詐欺などの不正請求

何かのサイトを見ようとしてクリックすると突然請求画面が表示されることがあります。慌てず相手にせず、信頼できる大人の人に相談しましょう。



③有害サイト

見るだけでウイルスに感染するサイトもあります。いかがわしいサイトに近づかないことが大切です。



14. ネットトラブル事例「学校学習用タブレットの不適切利用」

① 学習活動に関係ないアプリ等の使用

端末に使用制限が付されていても、様々な方法を駆使することで学習活動に関係のないアプリやサイトを見られてしまう場合があります。



② フィッシング詐欺など不正サイトへの接続

何かのサイトを見ようとしてクリックすると突然請求画面が表示されることがあります。



③ なりすまし

クラスや出席番号等、IDやパスワードが容易に予測できるものであれば、なりすましたり、なりすまされたりする場合があります。



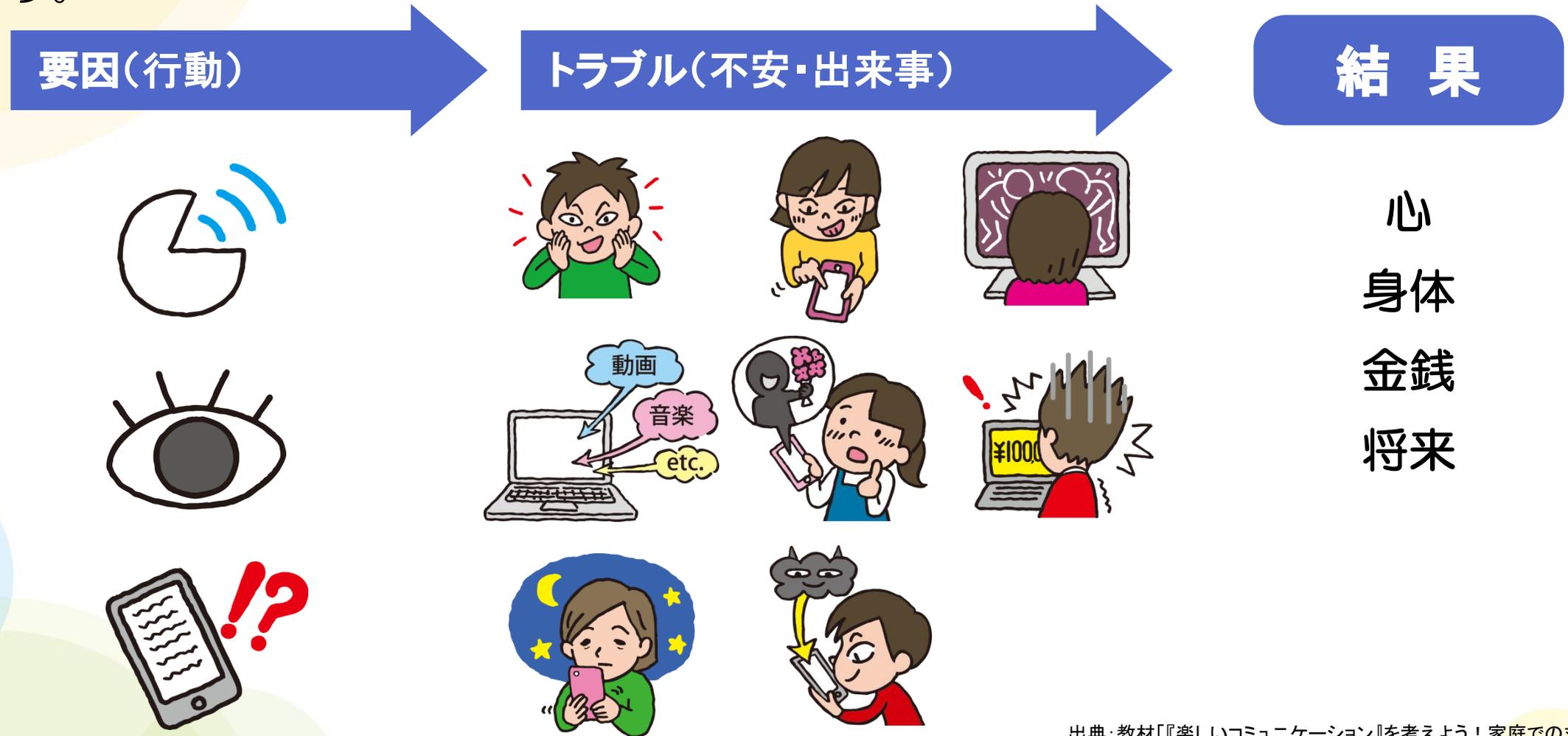
第3章

ネットトラブルの 要因と対策



1. トラブルと要因、結果

ネットトラブルには要因が存在し、トラブルが起こることにより、被害が発生します。



2. トラブルの整理

現在のネット利用に関するトラブルはたとえば次のようなものがあります。

1 悪口・いじり



「グルチャはずし」

「ネットいじめ」

「悪口や嘘の書き込み」

2 不適切情報の発信

「個人情報」

「個人情報の流出」

「無断公開」

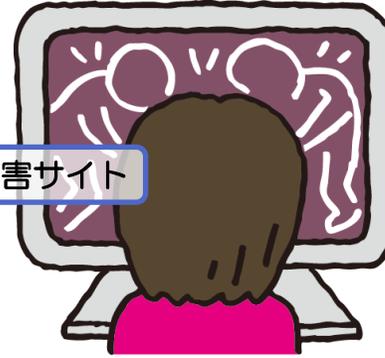
「悪ふざけの自慢を投稿」

「不適切画像」



3 不適切サイトの閲覧

有害サイト



4 著作権の侵害

動画

音楽

etc.



「違法ダウンロード」

5 知らない人との出会いによるトラブル



コミュニティサイトでの出会い

6 高額課金

「ワンクリック詐欺」

「ゲーム課金」



「使いすぎ」

7 不適切な利用方法

依存

「ながらスマホ」

学校学習用タブレットの
不適切利用



8 不正アプリのインストール



出典: 教材『楽しいコミュニケーション』を考えよう! 家庭での対話編
(一般財団法人LINEみらい財団)より

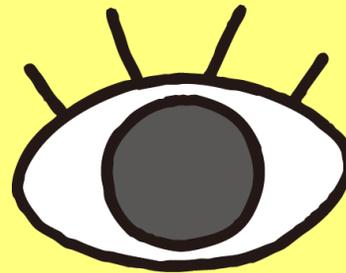
3.トラブル要因の整理

トラブルの要因となる行動は、大きく3つに分類できます。

- 1 悪口・いじり
- 2 不適切情報の発信
- 3 不適切サイトの閲覧
- 4 著作権の侵害
- 5 知らない人との出会いによるトラブル
- 6 高額課金
- 7 不適切な利用方法
- 8 不正アプリのインストール



不適切な情報を送る・発信する



不適切な情報を見る・受け取る



不適切な使い方・管理

4. 要因と対策

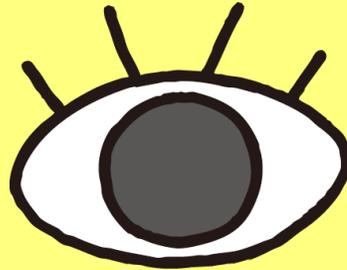
要因

「不適切な情報を
送る・発信する」



悪口・いじり、
悪ふざけやウソの書き込み等

「不適切な情報を
受け取る・見る」



知らない人からの誘い出し、
青少年にふさわしくないサイトの
閲覧等

「不適切な使い方・
管理」



長時間利用やながらスマホ、
不正アプリのダウンロードなど

対策

③コミュニケーションの
トレーニング

①設定の確認(フィルタリング等)

②家庭でのルール工夫

5. フィルタリング①

★フィルタリングとは

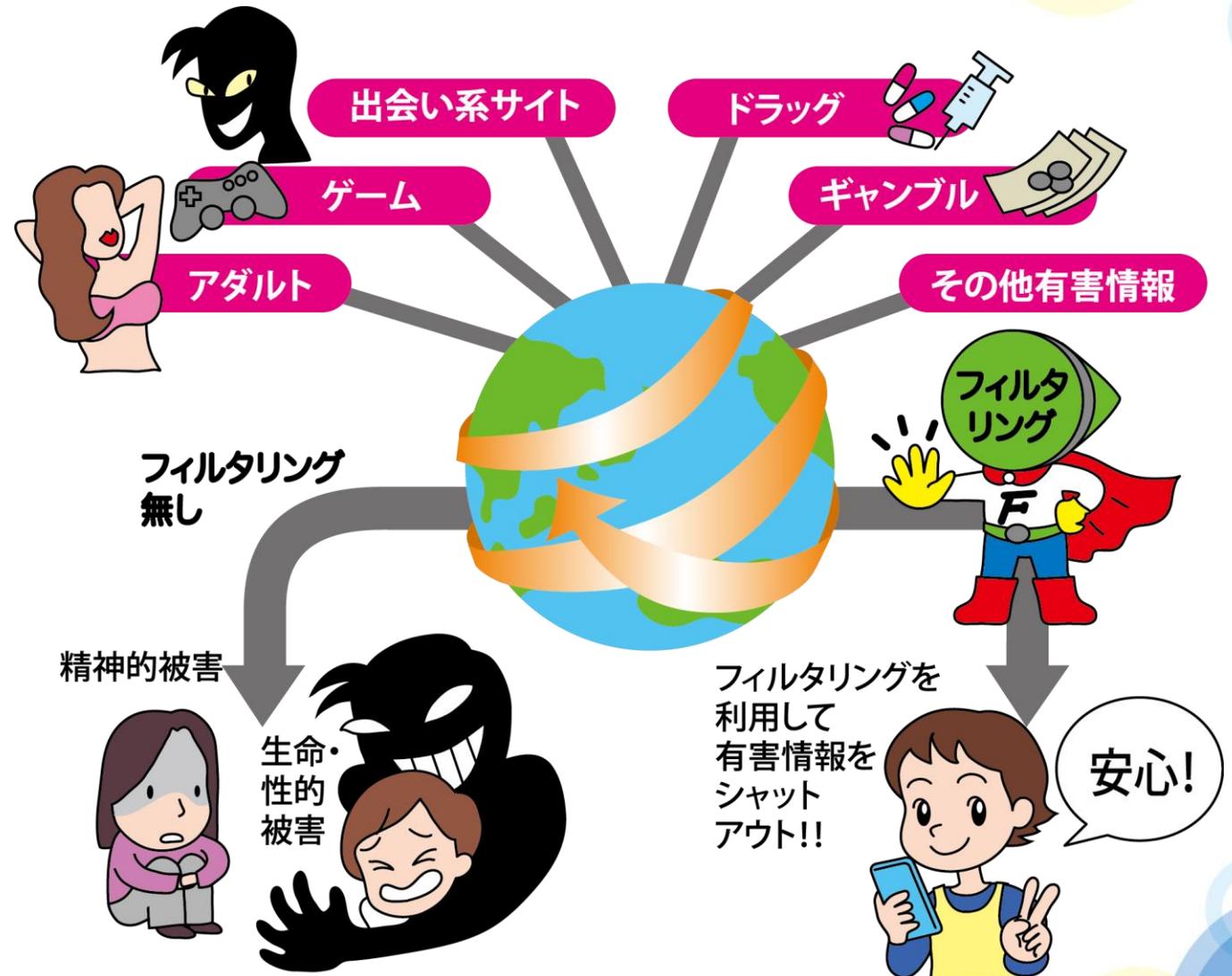
子どもに見せたくない有害なサイト閲覧を制限する機能のこと。

Ex.アダルト, 出会い系, 暴力, 自殺, 薬物, 違法サイト等

★なぜ必要か

子どもたちが有害なサイトに無防備なまま接しないために。

- 悪影響を受ける
- 高額な利用料を請求される
- 犯罪に巻き込まれる etc.



6. フィルタリング②

※法律や条例により、青少年（18歳未満）が利用する携帯電話を契約する場合に、下記の事項が義務付けられています。

事業者等

- 青少年確認
- フィルタリング等の説明
- フィルタリングソフトウェアやOSの設定

保護者

- 利用者が青少年である旨の申し出
- フィルタリングを利用しない場合の理由書の提出
- フィルタリングの設定を希望しない場合の理由書を提出
- 子どもの適切なインターネット利用の管理



7. フィルタリング③

各種フィルタリングサービス

OS 携帯電話 事業者 対象	Android		iOS	
	Web	アプリ	Web	アプリ
docomo、KDDI、 Softbank、 Y!mobile	<p>あんしんフィルター</p>    <p> あんしんフィルター for docomo あんしんフィルター for au あんしんフィルター for Softbank </p>			<p>スクリーン タイム</p>
その他の携帯 電話業者(格安 スマホ)	<p>各事業者提供するフィルタリングサービス、 各種フィルタリングアプリ等</p>			

※詳しくは各社ホームページをご確認ください。

8. フィルタリングレベルの選択

小学生、中学生、高校生ごとのレベルの設定や、個々のサイト・アプリケーションごとに使用の制限ができます。※設定方法等は変更される場合があります。各通信会社のホームページなどをご確認の上設定をしてください。

小学生モード



制限対象

ゲーム

動画・音楽

SNS

出会い・アダルト

中学生モード



制限対象

ゲーム

動画・音楽

SNS

出会い・アダルト

高校生モード



制限対象

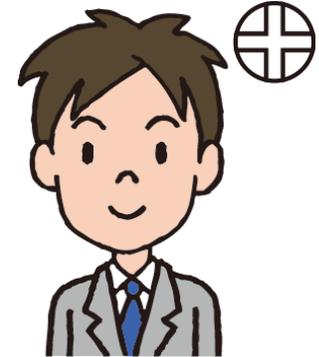
ゲーム

動画・音楽

SNS

出会い・アダルト

高校生プラスモード



制限対象

ゲーム

動画・音楽

SNS

出会い・アダルト

ご注意 お子さまがiPhone,iPadをご利用の場合、アプリケーションのフィルター強度は上記モードとは異なります。

9.ペアレンタルコントロール機能

★ペアレンタルコントロール機能とは

子どもによる情報通信機器（スマートフォンやタブレット、ゲーム機）の利用を，保護者が制限し監視する機能のこと。

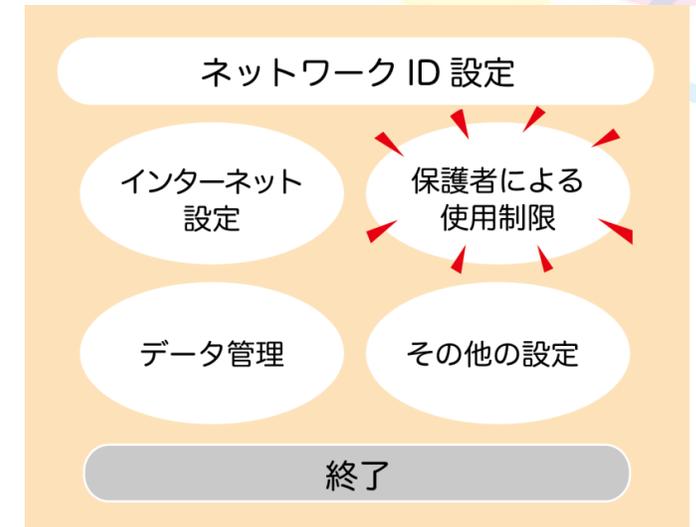
★なぜ必要か

子どもたちが有害なサイトに無防備なまま接しないために。

- 悪影響を受ける
- 高額な利用料を請求される
- 犯罪に巻き込まれる etc.

★具体的な使用制限の例

- 子どもの年齢に応じて，利用時間や利用場所，利用アプリなどを制限
- インターネット利用時にフィルタリングで有害情報を見られないように制限
- 写真や画像など，個人情報を含む可能性があるデータの送受信を制限
- 利用状況を保護者が確認



ペアレンタルコントロール設定メニュー画面例

10. 家庭でのルールの工夫

ルール作りの4原則

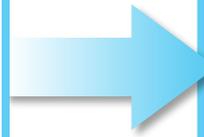
1. 使う前にルールを決める
2. 家族で話し合うプロセスが大切
3. ルールをしっかりと運用する
4. 子どもの成長や実態に応じて定期的に見直す

11. どう工夫したらルールが守れるか

自律を促すには、子ども自身に考えさせることが重要

「他律」

自分の意志ではなく、他人の命令などによって行動する



「自律」

常に、自分の意志で判断しながら行動する

例：「スマホは夜10時まで」

ルールを破りそうになる時は？

- ・友達から連絡がきたとき。
 - ・スマートフォンが見えたとき
- etc..

ルールを守るためには？

- ・着信音を切っておく
- ・勉強中は見えないところにスマートフォンを置く etc..



12. コミュニケーションのトレーニング

1 感覚のズレ



相手がどう思うか？

2 ネットの特性



表情、声の大きさが無い
→ニュアンスまで伝わらない

3 「リスクの見積り」によるズレ



「何が危険か」は分かっているが
「どれくらい危険か」がズレている

情報モラル = 日常モラル × ネットの特性 × 判断力・想像力

13. ネットトラブルに遭遇したら①

STEP

1

状況を確認, 把握する

- いつからか
- どこで（学校, 塾, 友達の家, 街の中 等）
- 何があったのか
- だれが関係しているのか
- きっかけや原因は



わかっていることと, わかっていないことを整理する

例えば

「昨夜の夜8時、自分の部屋でスマホで〇〇〇というサイトを見ていた時、突然、『会員登録されました。5万円支払ってください』という画面が出て動かなくなった。」

14. ネットトラブルに遭遇したら②

STEP

2

記録を残す

- 日時
- 場所
- ホームページアドレス，メール，画像データ，書面等そのものや，それらのコピーや写真に収めたもの
- 証人の証言

15. ネットトラブルに遭遇したら③

STEP 3

「周囲の信頼できる人へ連絡・相談する」

トラブル
発生

子ども

相談

周囲の
信頼できる大人
(保護者や学校の先生など)

相談

専門機関

- サイト運営者,管理者
- サーバ管理者
- ネットワーク管理者
- 警察
- 国, 自治体の行政サービス

16. 相談窓口①

■ 人権, いじめに関すること

- ・ 文部科学省 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310
- ・ 法務局・地方法務局
子どもの人権110番 0120-007-110
- ・ 岐阜県 人権啓発センター 058-272-8252
- ・ 岐阜県教育委員会
学校安全課教育相談係 058-271-3328
- ・ 教育相談ほほえみダイヤル 0120-745-070
- ・ 岐阜県 青少年SOSセンター 0120-247-505

17. 相談窓口②

■ お金に関すること

- ・ 消費者庁 消費者ホットライン
- ・ 岐阜県 県民生活相談センター
(消費生活関係)

短縮ダイヤル188

058-277-1003

18. 相談窓口③

■ 犯罪, 防犯に関すること

- ・ 岐阜県警察 警察安全相談室 058-272-9110
- ・ 岐阜県警察 少年サポートセンター 0120-783-800

19. 相談窓口④

■その他

- ・総務省 電気通信消費者相談センター 03-5253-5900
- ・東海総合通信局 電気通信事業課 052-971-9133
- ・違法・有害情報相談センター <http://www.ihaho.jp/>
- ・迷惑メール相談センター 03-5974-0068

20. まとめ

★トラブルの要因となる行動は「不適切な情報を発信する」「不適切な情報を見る」「不適切な使い方、管理」の3つである。

対策①「設定の確認」

フィルタリングやアプリの設定で防げるものは、きちんと活用する。

対策②「家庭でのルールの工夫」

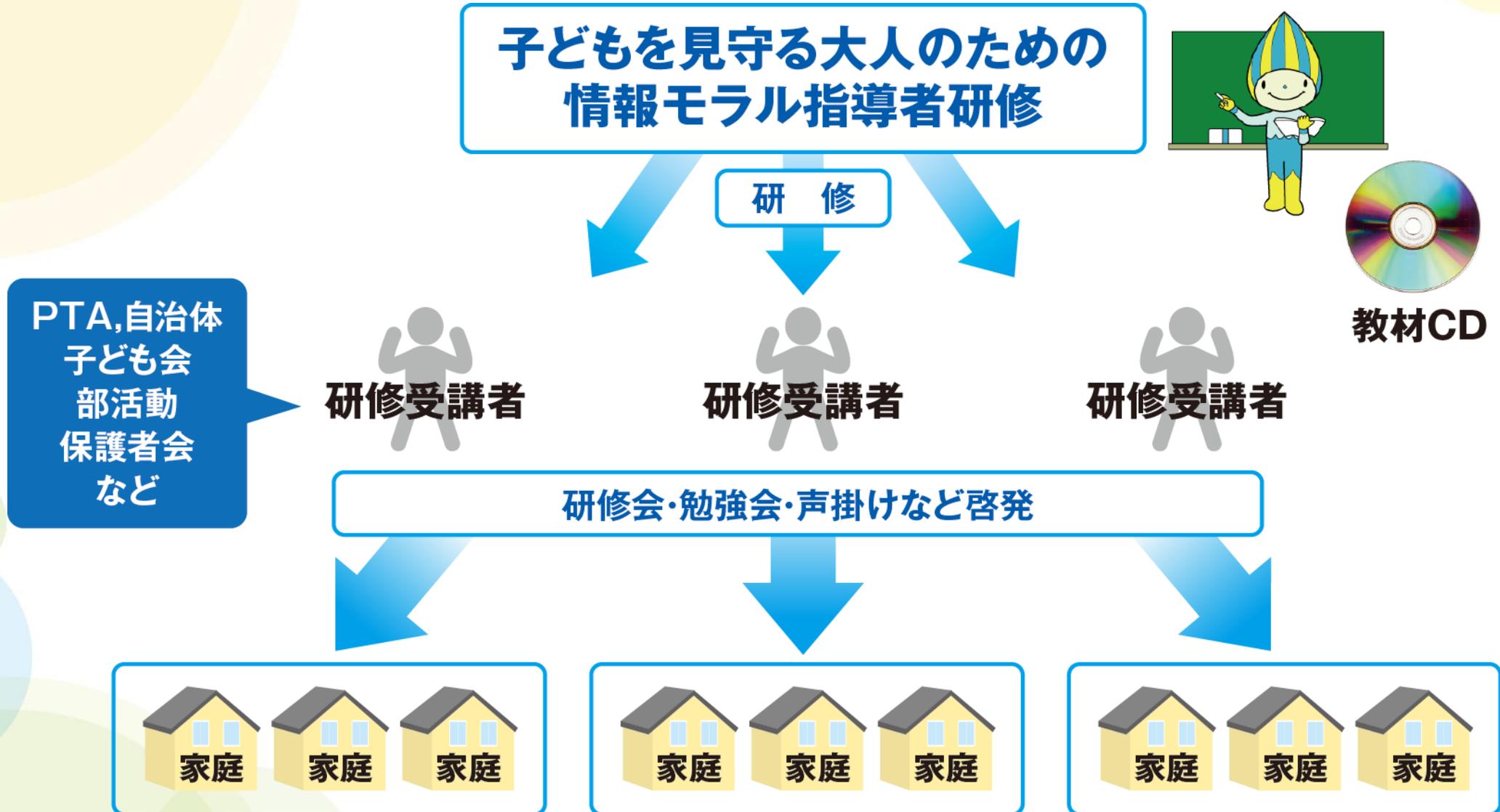
「ルールを守りなさい」という他律的指導から、「どう工夫したらルールを守れるのか」という自律を促すルール作りの工夫をする。

対策③「コミュニケーションのトレーニング」

「3つの視点」（感覚のズレ、ネットの特性、「リスクの見積り」によるズレ）を踏まえた訓練をする。

★被害にあったらすぐに STEP1「状況を確認」し、STEP2「記録を残す」。STEP3「相談窓口等へ連絡する」。

21. 研修を受講された皆様をお願いしたいこと



第4章

ワークショップ



1. ワークショップの進め方 アイスブレイク

- ① 4人グループに分かれます
- ② 司会役を一人決めます
- ③ この後のワークショップで話がしやすくなるように、まずは自己紹介をして、それぞれのご家庭の状況を話し合しましょう。

例えば

- ・子どもの学年, 持たせている端末, 料金など
- ・心配なこと, 困っていること, ルールの有無など

※(時間があれば, 司会の人話し合った内容を発表します)

2. ワークショップの進め方 正しい使い方

- ① 4人をお父さん・お母さん・子どもA・子どもBの役に分かります
- ② ワークシート①を見ながら「正しい使い方」のルールを話し合い、余白にまとめます

3. ワークショップの進め方 安全な使い方

ワークシート①を見ながら「安全な使い方」を話し合い、余白にまとめます

4. ワークショップの進め方 ルールやマナー

ワークシート①を見ながら「ルールやマナー」について話し合い,余白にまとめます

それでは,グループごとに話し合いましょう

5. ワークショップの発表

グループで話し合って考えた「我が家のルール」を各グループの代表の方が発表しましょう

6. ワークショップ ルール例①

正しい使い方

- 悪口や乱暴な言葉,人を傷つける言葉を書かない,他人に広めない
- うわさ話やウソ,デマを書かない,他人に広めない
- 勝手に写真や動画を撮らない,のせない,他人に広めない
- いたずらや悪ふざけの言葉や画像をネットに書かない,のせない,他人に広めない
- 勝手にコピーしたものをネットに流さない

7. ワークショップ ルール例②

安全な使い方

- フィルタリングを設定し,見ていいサイトは相談して決める
- パスワードの設定は家の人とする
- パスワードは他の人に言わない
- SNSやツイッターはしない
- LINEなどの通話アプリは知らない人を登録しない。
- 画面の履歴は消さない
- 画面ロックを設定して無くさないように気を付ける
- 個人情報やネットに書かない,送らない
- 知らない人からのアンケートや質問に答えない
- ネットの情報は確かめてうのみにしない
- 本当にその人かどうかなりすましに気を付ける
- ネットで知り合った人と一人で会わない
- ダウンロードするときは家の人に言う
- 何か変なことやおかしなことがあれば家族に言う

8. ワークショップ ルール例③

ルールやマナー

- 歩きながらなど「ながらスマホ」はしない
- スマホは家の人で契約して子どもが借りていることを忘れない
- 食事中や家族といるときは使わない
- 自分の部屋では使わない
- 使っていい時間を守る（〇時～〇時,〇時までには居間の充電器に差し込む）
- 友だちと連絡できる時間を決める
- 電車や病院など人の多く集まる場所では電話しない
- ネットで買い物やオークションはしない
- 課金は家の人に相談してから行う。プリペイドカードは買わない
- ゲーム機にもペアレンタルコントロール機能を設定する
- もしこれらのルールが守れなかったら（ **例えば** 〇日間親がスマホを預かる）

家に帰って早速始めましょう

1. 子どもの利用実態を話し合う
2. 困ったことやトラブルはなかったか
3. 「我が家のルール」を家族で話し合い決める
4. 書き出したルールを貼り出す
5. 見直しが肝心です！

最後に . 2

本教材のデータやQAなどについて、下記ホームページに掲載しています。

ネット安全安心ぎふコンソーシアム |

検索

アドレス <http://www.ip.mirai.ne.jp/~g-ikusei/consortium/material.html>

教材に関するお問い合わせは

ネット安全・安心ぎふコンソーシアム事務局

(岐阜県こども・女性部子ども・女性政策課内)

TEL 058-272-8238 まで

**以上で研修会を終わります
ありがとうございました。**

**ワークシート①と②をお持ち帰りください
アンケートのご協力をお願いします**